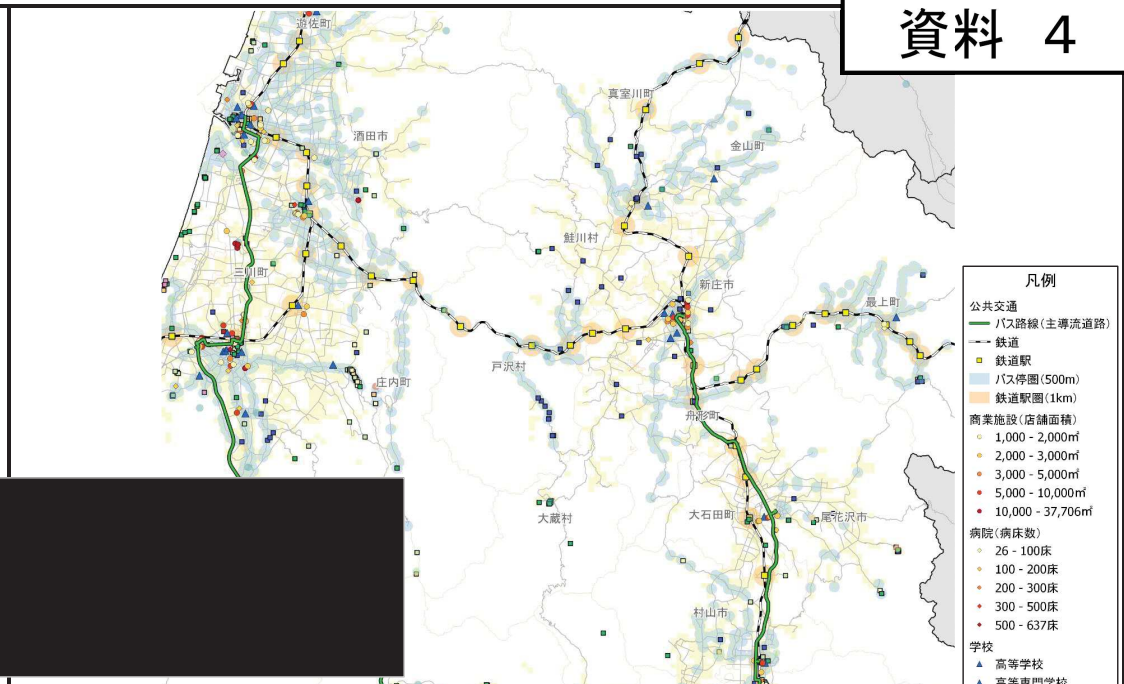
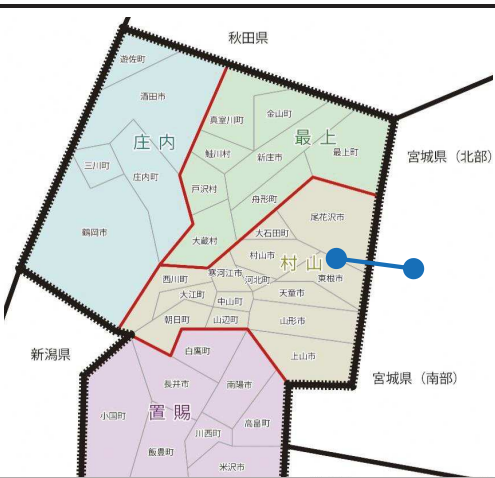


主要流動路		I		村山地域⇄宮城県	
移動需要量	通勤	4,151	人		%
	通学	2,445	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0		人		%
対応する公共交通	鉄道	JR仙山線			
	高速バス	以下の6系統			
	路線バス	以下の1系統			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	なし			



- 凡例
- 公共交通
 - バス路線(主導流道路)
 - 鉄道
 - バス停留(500m)
 - 鉄道駅(1km)
 - 商業施設(店舗面積)
 - 1,000 - 2,000㎡
 - 2,000 - 3,000㎡
 - 3,000 - 5,000㎡
 - 5,000 - 10,000㎡
 - 10,000 - 37,706㎡
 - 病院(病床数)
 - 26 - 100床
 - 100 - 200床
 - 200 - 300床
 - 300 - 500床
 - 500 - 637床
 - 学校
 - ▲ 高等学校
 - ▲ 高等専門学校
 - ◆ 短期大学
 - ◇ 大学
 - 観光地(来訪者数)
 - 100万人以上
 - 70~100万人未満
 - 50~70万人未満
 - 40~50万人未満
 - 30~40万人未満
 - 20~30万人未満
 - 10~20万人未満
 - 5~10万人未満
 - 不明
 - 宿泊施設(総定員)
 - 0 - 10
 - 10 - 30
 - 30 - 50
 - 50 - 100
 - 100 - 200
 - 200 - 300
 - 300 - 764
 - バスマップ
 - 市町村境
 - 有人メッシュ(500m)

サンプル

運行者	経路			運行本数(本)	輸送量(人)	国庫補助(%)	視点(A)			視点(B)			視点(C)			沿線市町村	
	起点	経由地	終点				沿線人口(H27)	経常収益(千円)	評価	人口増減率(H22-H27)	高齢化率(H27)	評価	キロ程(km)	距離総長(キロ程)に占める平均乗車キロの割合	評価		
山交バス	山交バス	庄谷	宮城青年校前	40.0	100,000	◆	100%	70,296	100,000	II	2.7%	22.5%	I	65.9	73.6%	山	
山交バス	山交バス	庄谷	仙山駅前	3.0	150,000	◆	30%	72,266	110,000	II	0.2%	24.2%	I	80.8	100.0%	山	
宮城交通	仙山駅前	エスモールBT	酒田交差点	4.0	300,000	◆	30%	88,035	100,000	II	-4.3%	33.1%	IV	183.2	100.0%	山	山
宮城交通	県庁市役所前	山形県庁前	高松山温泉	4.0	300,000	◆	30%	82,086	100,000	II	-4.4%	32.5%	IV	80.6	100.0%	山	山
宮城交通	県庁市役所前	山形県庁前	山形駅前	40.0	100,000	◆	30%	84,223	100,000	II	2.5%	23.1%	I	66.6	100.0%	山	山
宮城交通	仙山駅前	山形県庁前	山形駅前	2.0	150,000	◆	30%	72,266	110,000	II	0.2%	24.2%	I	80.9	100.0%	山	山
山交バス	山交バス	庄谷	仙山駅前	10.0	300,000	◆	30%	43,068	100,000	II	-1.2%	28.5%	II	102.1	41.0%	I	新 舟 尾 大 村 東

国庫補助対象地域間幹線系統に「○」、運行本数(3本以上)と輸送量(15人以上)の観点から今後国庫補助対象地域間幹線系統化が期待できるものに「◆」を付けた。

県内の全系統のキロ程(片道1回あたりの運行距離)と平均乗車キロ(利用者が1回の利用で乗車する利用距離)とキロ程に占める割合を算出し、各々の指標の平均値をしきい値として、対象系統を以下のカテゴリに分類した

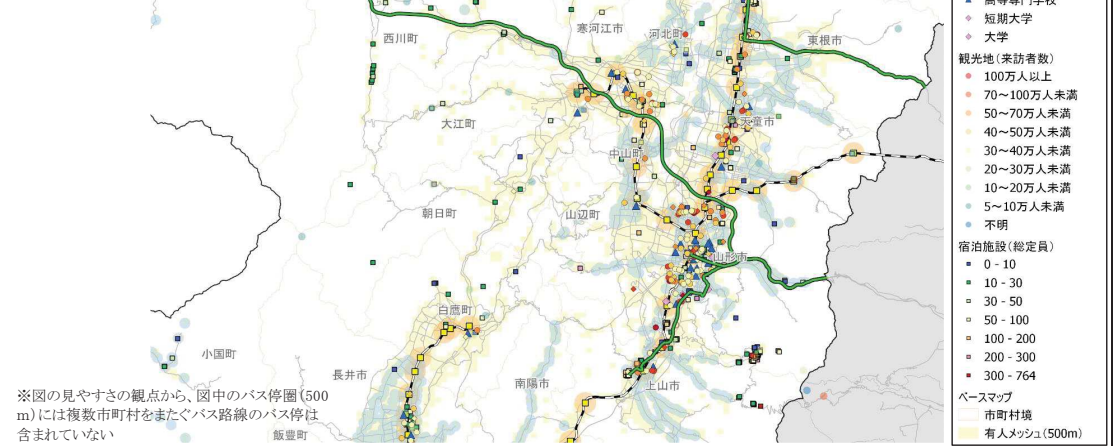
- I : 比較的長距離を運行しているものの、利用者も比較的利用距離が長い(=路線分割の必要性が比較的低い)
- II : 比較的短距離を運行しているものの、利用者は比較的利用距離が長い(=路線分割の必要性が比較的低い)
- III : 比較的短距離を運行しているものの、利用者は比較的利用距離が短い(=路線分割の必要性が比較的高い)
- IV : 比較的長距離を運行しているものの、利用者は比較的利用距離が短い(=路線分割の必要性が比較的高い)

県内の全系統のそれぞれの沿線人口(バス停勢力圏人口)と経常収益をもとに、各々の指標の平均値をしきい値として、対象系統を以下のカテゴリに分類した

- I : 沿線人口も比較的多く、経常収益も比較的多い
- II : 沿線人口は比較的少ないが、経常収益は比較的多い
- III : 人口が比較的少なく、収益も比較的少ない
- IV : 人口が比較的多いのに、収益が比較的少ない

県内の全系統のそれぞれの沿線人口(バス停勢力圏人口)の人口増減率と高齢化率を算出し、各々の指標の平均値をしきい値として、対象系統を以下のカテゴリに分類した

- I : 人口が増加しており、高齢化率も比較的低い
- II : 人口は減少しているものの、高齢化率は比較的低い
- III : 人口減少はしているが、比較的緩やかな傾向であるが高齢化率は比較的高い
- IV : 人口減少も高齢化率も比較的高い



※図の見やすさの観点から、図中のバス停留(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

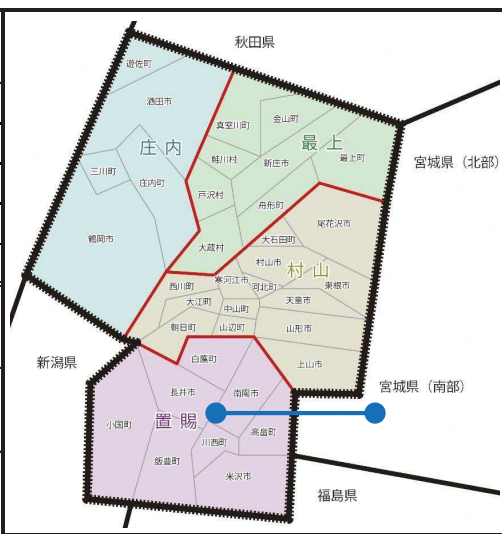
<利用者視点の問題点等>

- ・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内まで乗り入れていない幹線バス路線が存在(支線バスは乗り入れているにもかかわらず)
- …具体的に: 上山温泉、ヤマザワ上山店、おーばん上山店、ファッションセンターしまむら上山店

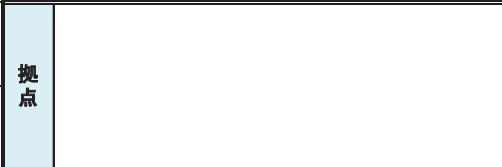
<事業者視点の問題点等>

- ・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在
- ・国庫補助対象の補助要件に満たす可能性が高い高速バス路線、幹線バス路線の存在(現市町村間をまたぐバス路線を中心に国と県による財政支援を要検討)

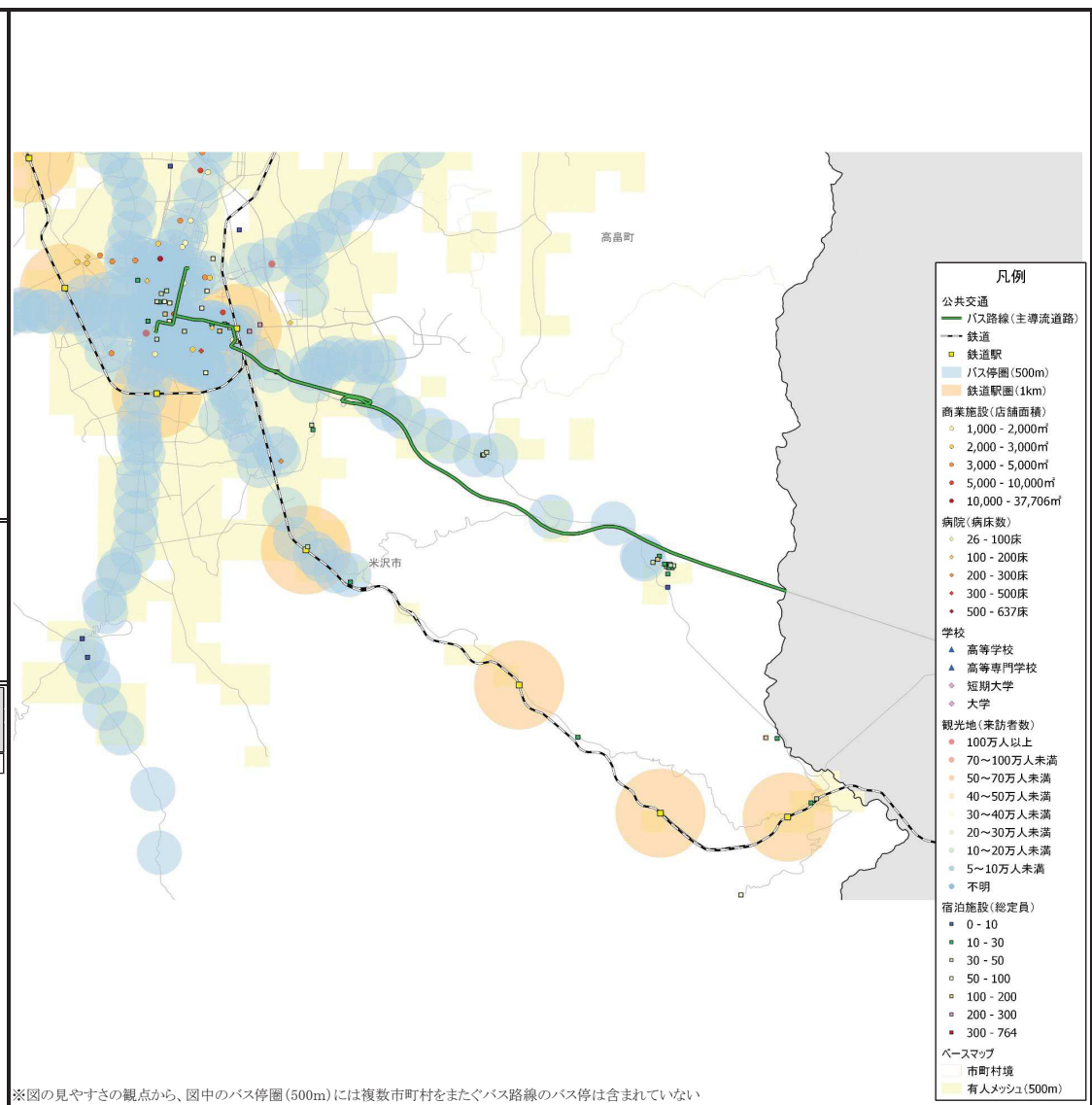
主要流動路		I		置賜地域⇄宮城県	
移動需要量	通勤	396	人		%
	通学	266	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0		人		%



対応する公共交通	鉄道	なし
	高速バス	以下1路線
	路線バス	なし
	コミュニティ交通	なし
	その他	なし



運行者	経路			運行本数 (本)	輸送量 (人)	国庫 補助	収支率 (%)	視点(ア)			視点(イ)			視点(ウ)			沿線市町村
	起点	経由地	終点					沿線人口 (H27)	経常収益 (千円)	評価	人口増減率 (H22- H27)	高齢化率 (H27)	評価	キロ程(km)	距離総長(キロ 程)に占める平均 乗車キロの割合	評価	
山交バス	米沢市役所前	東北中央自動車道 栗山自動車道	仙台駅東口	3.0	20以上 100未満	◆	50%以上 100%未満	51,326	50,000以上 100,000未満	II	1.5%	25.5%	I	119.4	90.3%	III	米

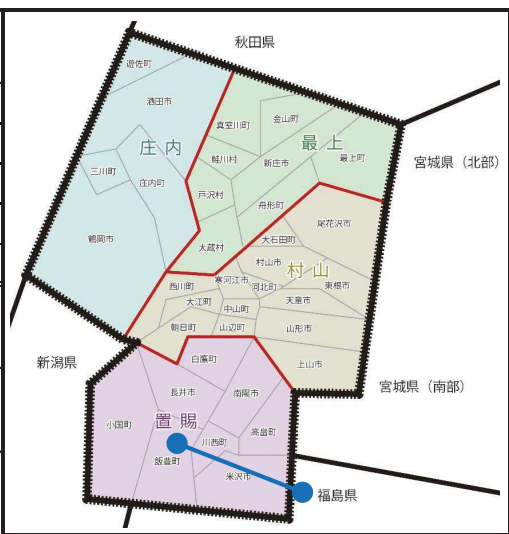


- 凡例
- 公共交通
 ● バス路線(主幹流道路)
 □ 鉄道
 ■ 鉄道駅
 ■ バス停留所(500m)
 ■ 鉄道駅圏(1km)
- 商業施設(店舗面積)
 ● 1,000 - 2,000㎡
 ● 2,000 - 3,000㎡
 ● 3,000 - 5,000㎡
 ● 5,000 - 10,000㎡
 ● 10,000 - 37,706㎡
- 病院(病床数)
 ● 26 - 100床
 ● 100 - 200床
 ● 200 - 300床
 ● 300 - 500床
 ● 500 - 637床
- 学校
 ▲ 高等学校
 ▲ 高等専門学校
 ● 短期大学
 ● 大学
- 観光地(来訪者数)
 ● 100万人以上
 ● 70~100万人未満
 ● 50~70万人未満
 ● 40~50万人未満
 ● 30~40万人未満
 ● 20~30万人未満
 ● 10~20万人未満
 ● 5~10万人未満
 ● 不明
- 宿泊施設(総定員)
 ■ 0 - 10
 ■ 10 - 30
 ■ 30 - 50
 ■ 50 - 100
 ■ 100 - 200
 ■ 200 - 300
 ■ 300 - 764
- ベースマップ
 ■ 市町村境
 ■ 有人メッシュ(500m)

※図の見やすさの観点から、図中のバス停留所(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

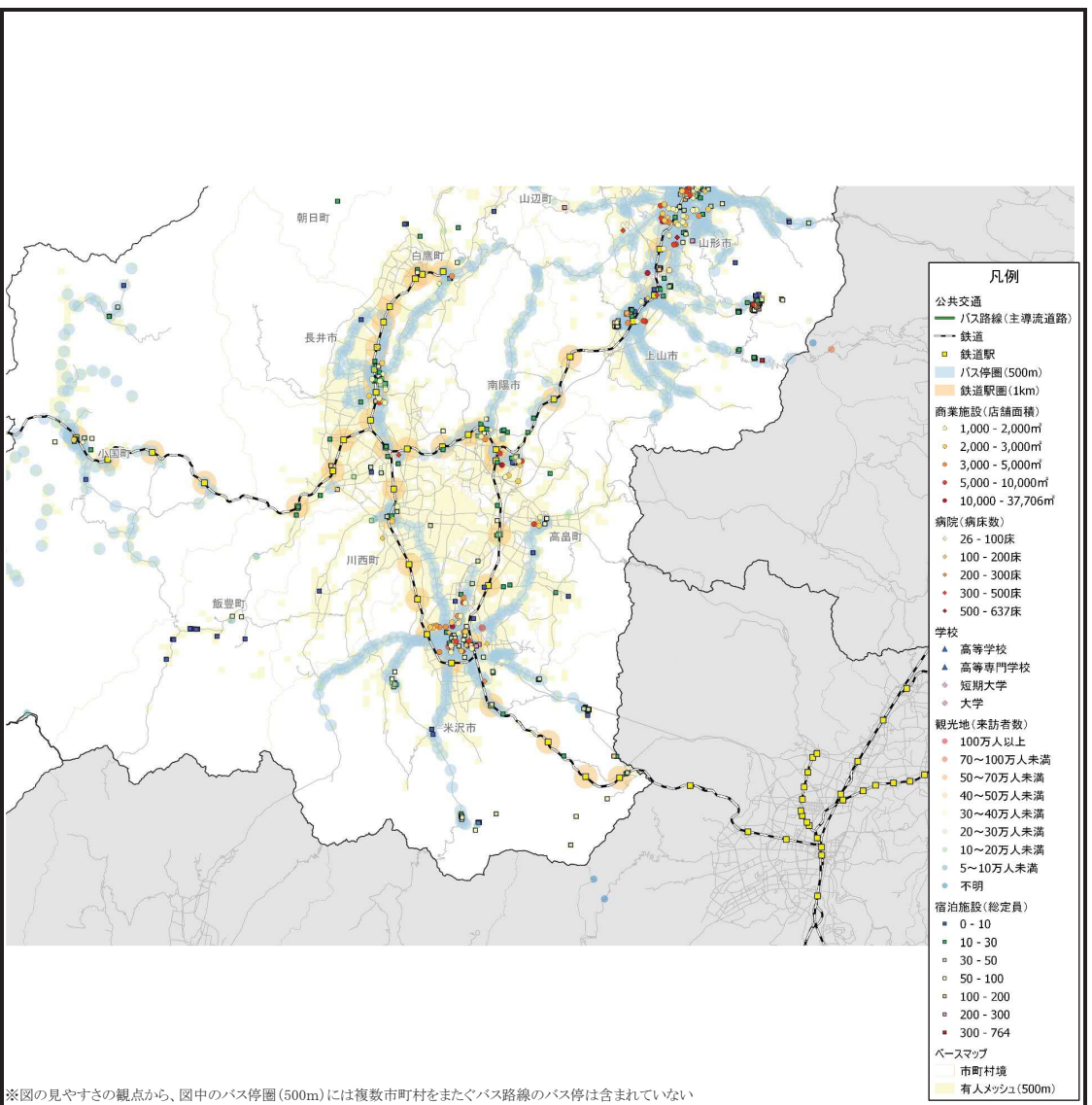
<利用者視点の問題点等>	<事業者視点の問題点等>
	<p>・国庫補助対象の補助要件に満たす可能性が高い高速バス路線、幹線バス路線の存在(現市町村間をまたぐバス路線を中心に国と県による財政支援を要検討)</p>

主要流動路		I		置賜地域⇄福島県	
移動需要量	通勤	809	人		%
	通学	176	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0		人		%



対応する公共交通	鉄道	JR山形新幹線、JR山形線
	高速バス	なし
	路線バス	なし
	コミュニティ交通	なし
	その他	米沢中央高等学校(米沢市)スクールバス

拠点	
----	--

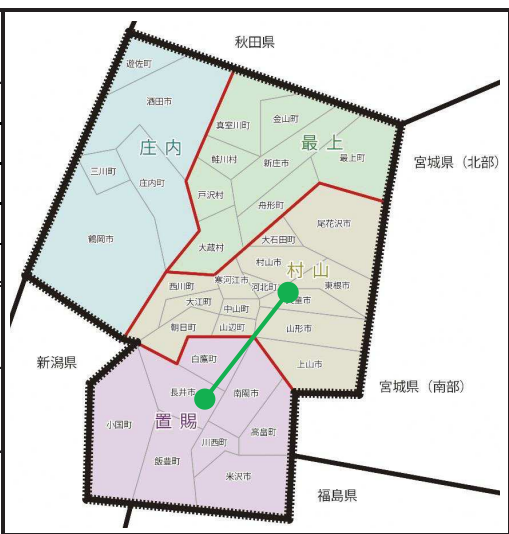


※図の見やすさの観点から、図中のバス停圏(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

<利用者視点の問題点等>

<事業者視点の問題点等>

主要流動路		II 村山地域⇔置賜地域	
移動需要量	通勤	6,147 人	%
	通学	1,143 人	%
	買い物 (買い回り)	人	%
	観光	人	%
	ETC2.0	527 人	%



対応する公共交通	鉄道	JR山形新幹線、JR山形線
	高速バス	以下の2系統
	路線バス	以下の1系統
	コミュニティ交通	なし
	その他	なし
	拠点	

運行者	経路			運行本数 (本)	輸送量 (人)	国庫補助 (%)	収支率 (%)	拠点 (ア)		拠点 (イ)		拠点 (ウ)		沿線市町村	
	起点	経由地	終点					沿線人口 (千人)	経路収益 (千円)	人口密度率 (人/km)	高層化率 (%)	評価	キロ程(km)		期間延長 (キロ程に 対する平均乗客キロの割合)
山交バス	山交ビル前	小国町	万代シティBC	1.0	100以上 20未満	80%以上	113,661	10,000以上 30,000未満	I	-3.4%	30.2%	II	164.6	100.0%	山 上 南 川 長 飯 小
山交バス	山交ビル前	南陽・小国 北陽道・名神道 飯野道	SSJ(大蔵)	0.9	50以上 15未満	90%以上	113,661	50,000以上 100,000未満	I	-3.4%	30.2%	II	782.6	88.8%	IV 山 上 南 川 長 飯 小
山交バス	山形市役所前	高橋	道の駅のみさと長井	6.0	50以上 50未満	90%以上	134,084	10,000以上 30,000未満	I	-1.3%	28.5%	II	45.7	14.4%	IV 山 上 南 白 長

凡例

公共交通
 ● バス路線(主導流道路)
 --- 鉄道
 ■ 鉄道駅
 ■ バス停留所(500m)
 ■ 鉄道駅圏(1km)

商業施設(店舗面積)
 ● 1,000 - 2,000㎡
 ● 2,000 - 3,000㎡
 ● 3,000 - 5,000㎡
 ● 5,000 - 10,000㎡
 ● 10,000 - 37,706㎡

病院(病床数)
 ● 26 - 100床
 ● 100 - 200床
 ● 200 - 300床
 ● 300 - 500床
 ● 500 - 637床

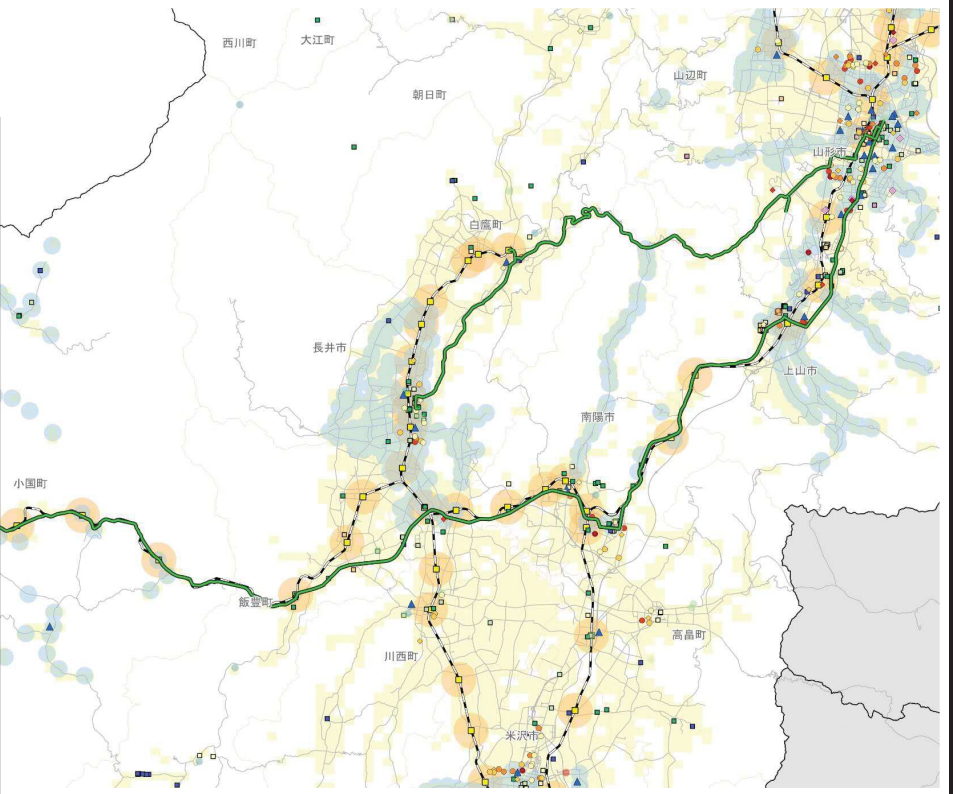
学校
 ▲ 高等学校
 ▲ 高等専門学校
 ▲ 短期大学
 ● 大学

観光地(来訪者数)
 ● 100万人以上
 ● 70~100万人未満
 ● 50~70万人未満
 ● 40~50万人未満
 ● 30~40万人未満
 ● 20~30万人未満
 ● 10~20万人未満
 ● 5~10万人未満
 ● 不明

宿泊施設(総定員)
 ■ 0 - 10
 ■ 10 - 30
 ■ 30 - 50
 ■ 50 - 100
 ■ 100 - 200
 ■ 200 - 300
 ■ 300 - 764

ベースマップ
 ■ 市町村境
 ■ 有人メッシュ(500m)

※図の見やすさの観点から、図中のバス停留所(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない



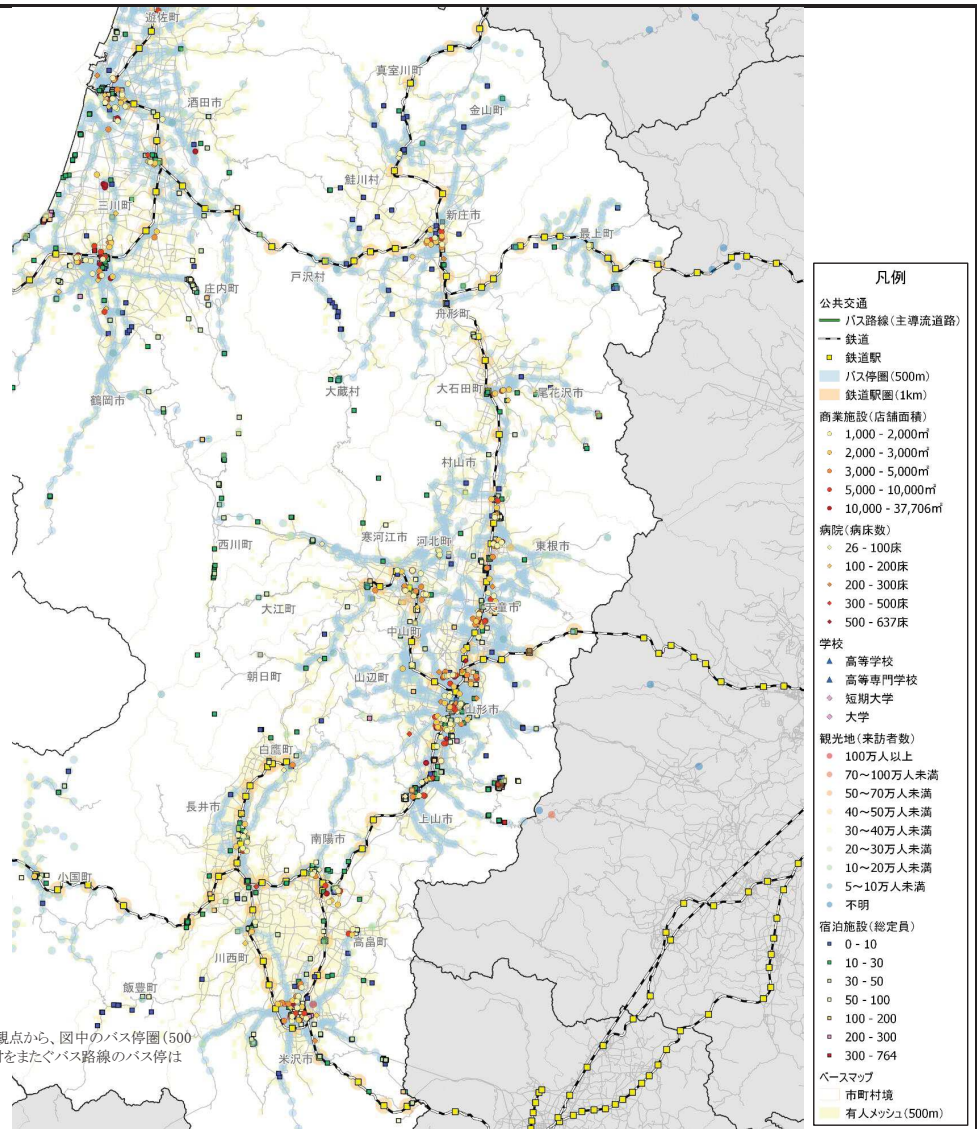
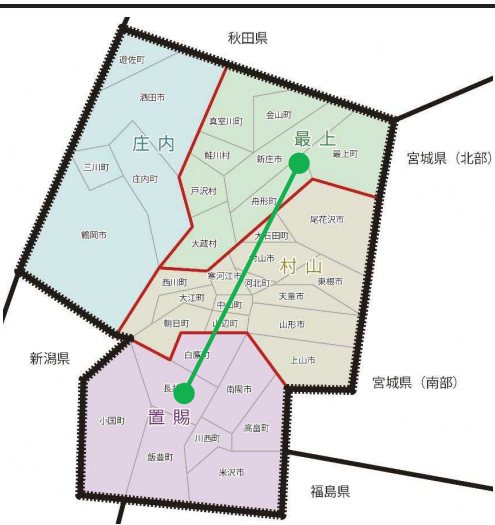
<利用者視点の問題点等>

・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内まで乗り入れていない幹線バス路線が存在(支線バスは乗り入れているにもかかわらず)
 …具体的に: 白い森ショッピングセンターアスモ、日本大学山形高等学校、山形大学、上山温泉、ヤマザワ上山店、おーばん上山店、国立大学法人山形大学医学部附属病院

<事業者視点の問題点等>

・冗長なルートの割に、利用者の短区間利用が顕著であり、今後のルート分割・短縮等の運行効率化が求められる幹線バス路線が存在

主要流動路		II		最上地域⇔置賜地域	
移動需要量	通勤	44	人		%
	通学	12	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	40	人		%
対応する公共交通	鉄道	JR山形新幹線、JR山形線			
	高速バス	なし			
	路線バス	なし			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	なし			
					拠点

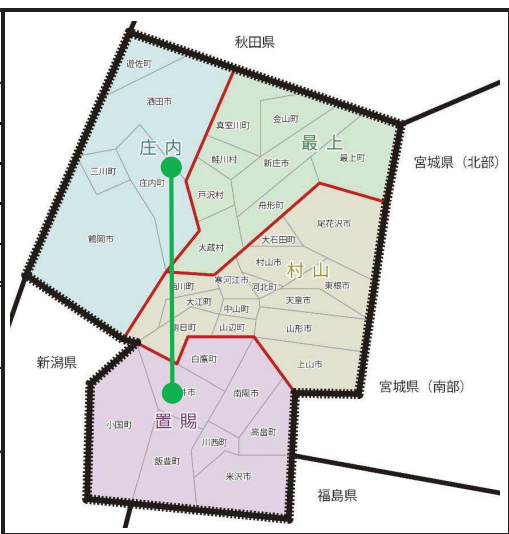


※図の見やすさの観点から、図中のバス停留(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

<利用者視点の問題点等>

<事業者視点の問題点等>

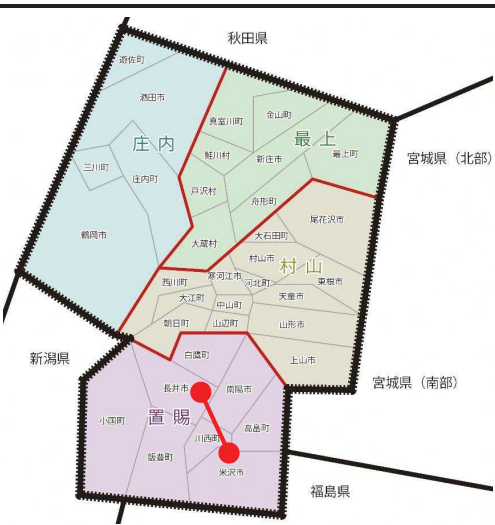
主要流動路		II		置賜地域⇔庄内地域	
移動需要量	通勤	74	人		%
	通学	26	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	39	人		%
対応する公共交通	鉄道	なし			
	高速バス	なし			
	路線バス	なし			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	なし			
				拠点	



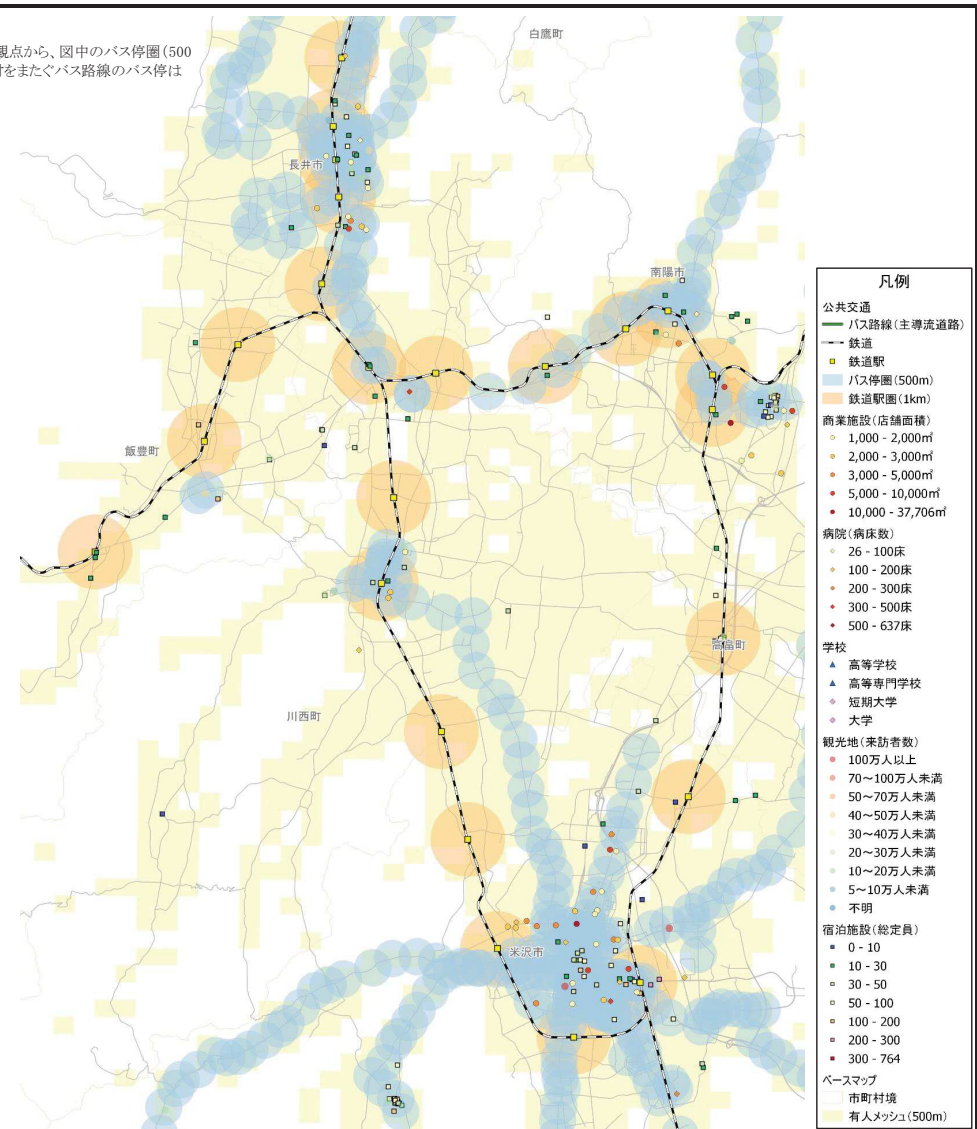
<利用者視点の問題点等>

<事業者視点の問題点等>

主要流動路		Ⅲ		米沢市⇔長井市	
移動需要量	通勤	913	人		%
	通学	146	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	23	人		%
対応する公共交通	鉄道	JR米坂線			
	高速バス	なし			
	路線バス	なし			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	米沢中央高等学校(米沢市)スクールバス			
					拠点



※図の見やすさの観点から、図中のバス停留(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

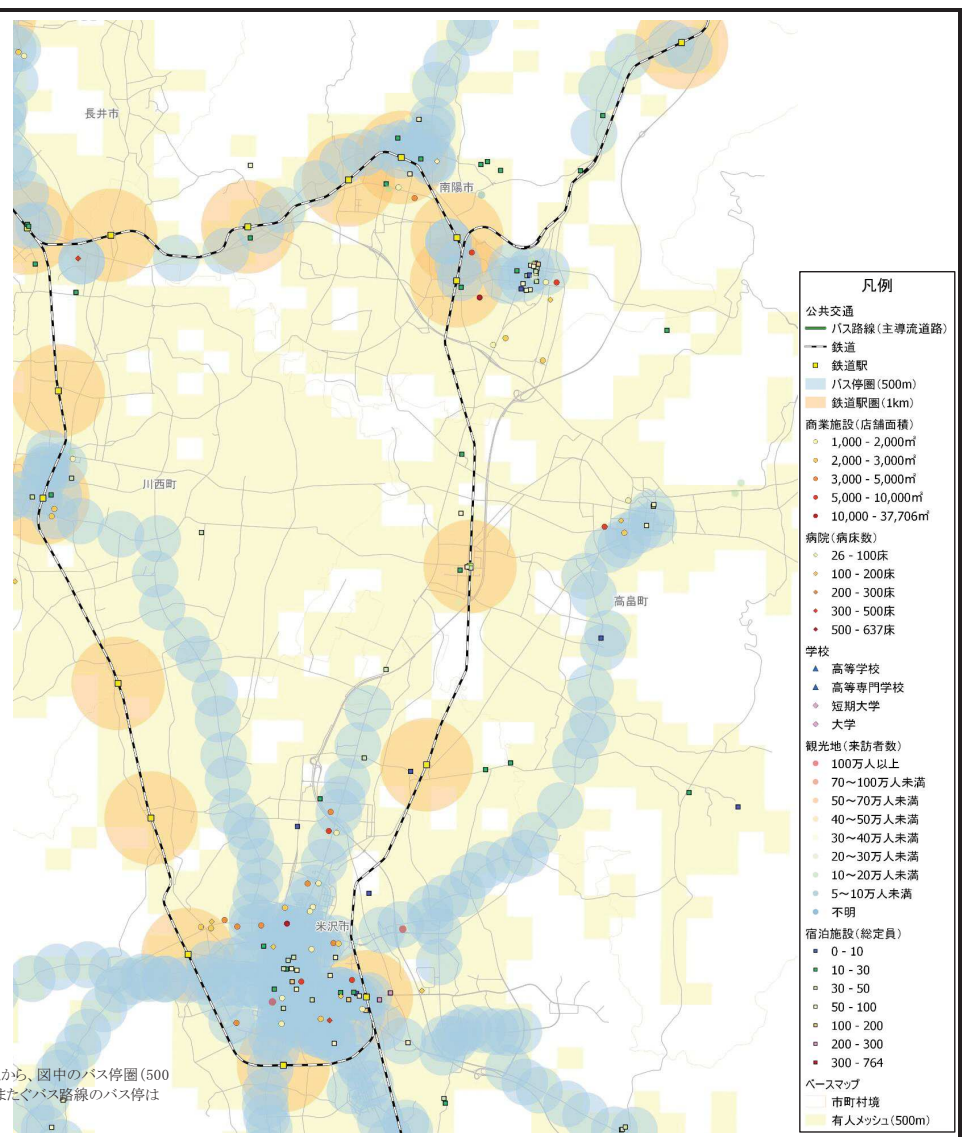
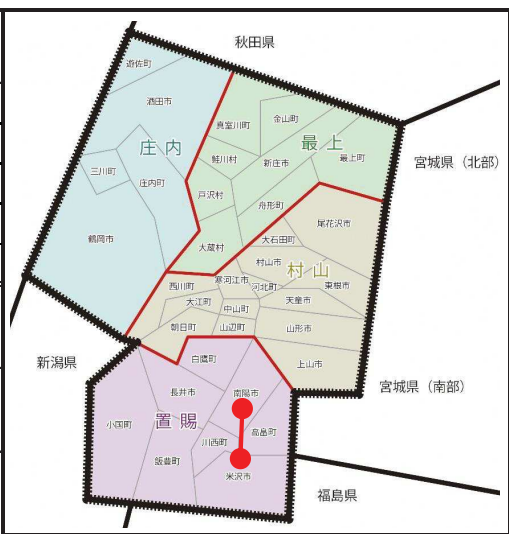


- 凡例**
- 公共交通
 - バス路線(主導流道路)
 - 鉄道
 - バス停留(500m)
 - 鉄道駅(1km)
 - 商業施設(店舗面積)
 - 1,000 - 2,000㎡
 - 2,000 - 3,000㎡
 - 3,000 - 5,000㎡
 - 5,000 - 10,000㎡
 - 10,000 - 37,706㎡
 - 病院(病床数)
 - 26 - 100床
 - 100 - 200床
 - 200 - 300床
 - 300 - 500床
 - 500 - 637床
 - 学校
 - ▲ 高等学校
 - ▲ 高等専門学校
 - ◇ 短期大学
 - ◇ 大学
 - 観光地(来訪者数)
 - 100万人以上
 - 70~100万人未満
 - 50~70万人未満
 - 40~50万人未満
 - 30~40万人未満
 - 20~30万人未満
 - 10~20万人未満
 - 5~10万人未満
 - 不明
 - 宿泊施設(総定員)
 - 0 - 10
 - 10 - 30
 - 30 - 50
 - 50 - 100
 - 100 - 200
 - 200 - 300
 - 300 - 764
 - ベースマップ
 - 市町村境
 - 有人メッシュ(500m)

<利用者視点の問題点等>

<事業者視点の問題点等>

主要流動路		Ⅲ		米沢市⇄南陽市	
移動需要量	通勤	2,671	人		%
	通学	323	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	85	人		%
対応する公共交通	鉄道	JR山形線			
	高速バス	なし			
	路線バス	なし			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	米沢中央高等学校(米沢市)スクールバス			
				拠点	



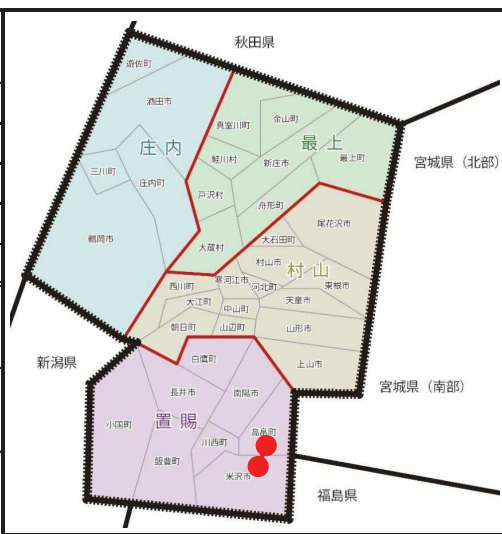
- 凡例
- 公共交通
 - バス路線(主導流道路)
 - 鉄道
 - 鉄道駅
 - バス停留(500m)
 - 鉄道駅圏(1km)
 - 商業施設(店舗面積)
 - 1,000 - 2,000㎡
 - 2,000 - 3,000㎡
 - 3,000 - 5,000㎡
 - 5,000 - 10,000㎡
 - 10,000 - 37,706㎡
 - 病院(病床数)
 - 26 - 100床
 - 100 - 200床
 - 200 - 300床
 - 300 - 500床
 - 500 - 637床
 - 学校
 - 高等学校
 - 高等専門学校
 - 短期大学
 - 大学
 - 観光地(来訪者数)
 - 100万人以上
 - 70~100万人未満
 - 50~70万人未満
 - 40~50万人未満
 - 30~40万人未満
 - 20~30万人未満
 - 10~20万人未満
 - 5~10万人未満
 - 不明
 - 宿泊施設(総定員)
 - 0 - 10
 - 10 - 30
 - 30 - 50
 - 50 - 100
 - 100 - 200
 - 200 - 300
 - 300 - 764
 - ベースマップ
 - 市町村境
 - 有人メッシュ(500m)

※図の見やすさの観点から、図中のバス停留(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

<利用者視点の問題点等>

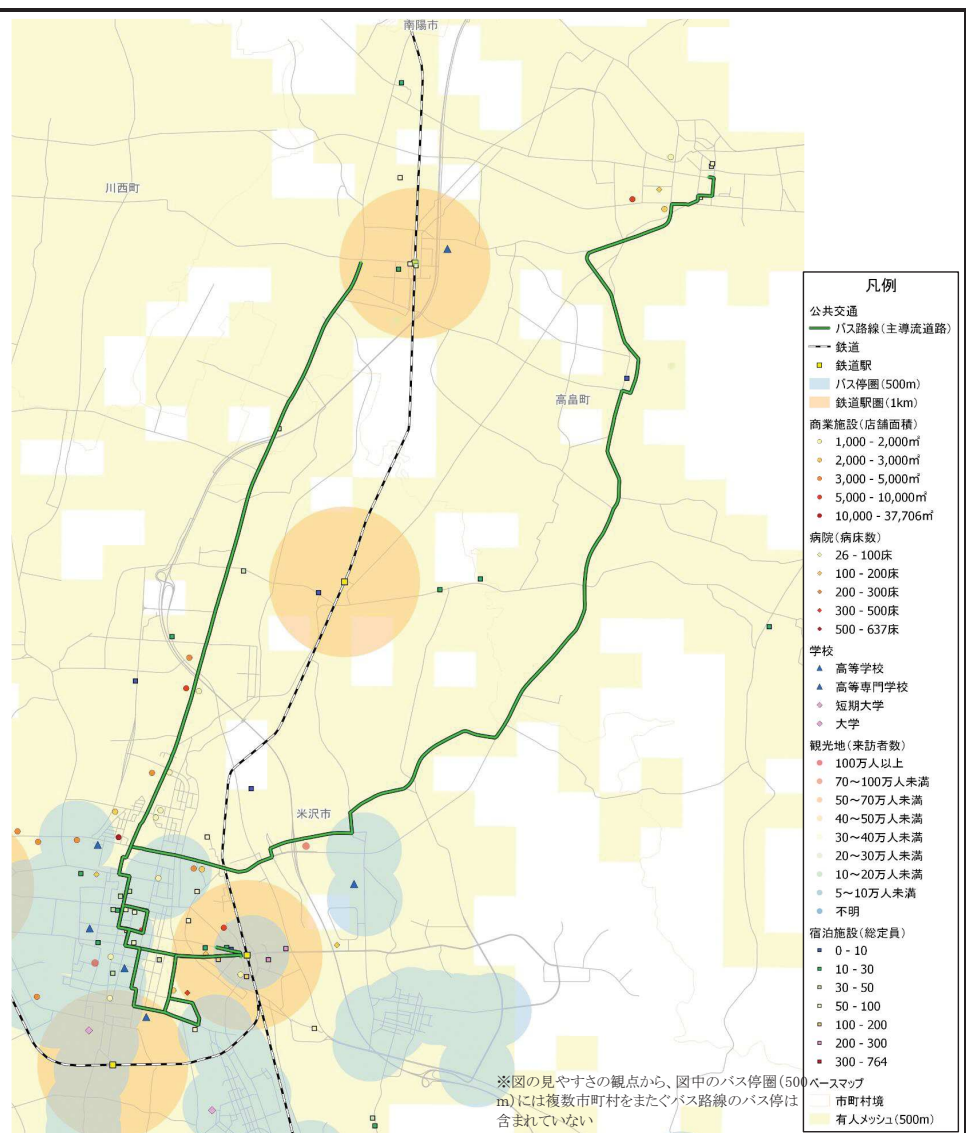
<事業者視点の問題点等>

主要流動路		Ⅲ		米沢市⇔高畠町	
移動需要量	通勤	4,418	人		%
	通学	451	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	124	人		%
対応する公共交通	鉄道	JR山形線			
	高速バス	なし			
	路線バス	以下の1系統			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	天然温泉竹とんぼ"彩時季"(高畠町)での送迎、米沢中央高等学校(米沢市)スクールバス			



拠点	沿線市町村	米沢市	高畠町
----	-------	-----	-----

運行者	経路			運行本数(本)	輸送量(人)	国庫補助(%)	収支率(%)	視点(ア)			視点(イ)			視点(ウ)			沿線市町村
	起点	経由地	終点					沿線人口(H27)(人)	経常収益(千円)	評価	人口増減率(H22-H27)	高齢化率(H27)	評価	キロ程(km)	距離総長(キロ程)に占める平均乗客キロの割合	評価	
山交バス	米沢駅前	市立病院	糠野目学校	2.0	19以上 29未満		100%以上	88,241	5,000未満	IV	-1.5%	27.1%	II	15.4	16.9%	III	米 高



<利用者視点の問題点等>

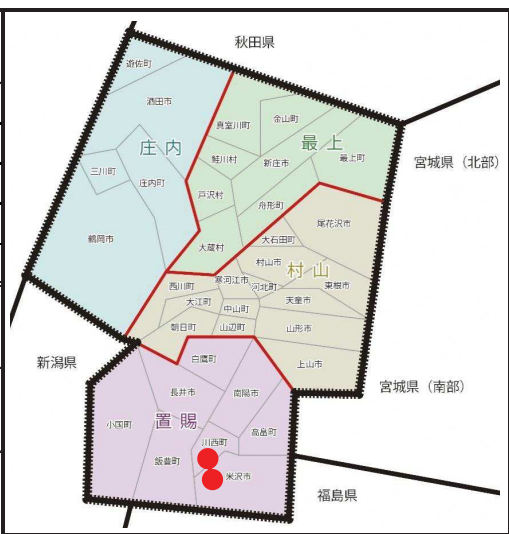
- ・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内まで乗り入れていない幹線バス路線が存在(支線バスは乗り入れているにもかかわらず)
- …具体的に:ヨークベニマル米沢門東町店、わくわくコマレオ米沢店
- ・介護福祉施設が無料送迎サービスを市町村間を跨いで実施

<事業者視点の問題点等>

- ・沿線人口が比較的多いにも関わらず、収益が比較的小さい

※図の見やすさの観点から、図中のバス停圏(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

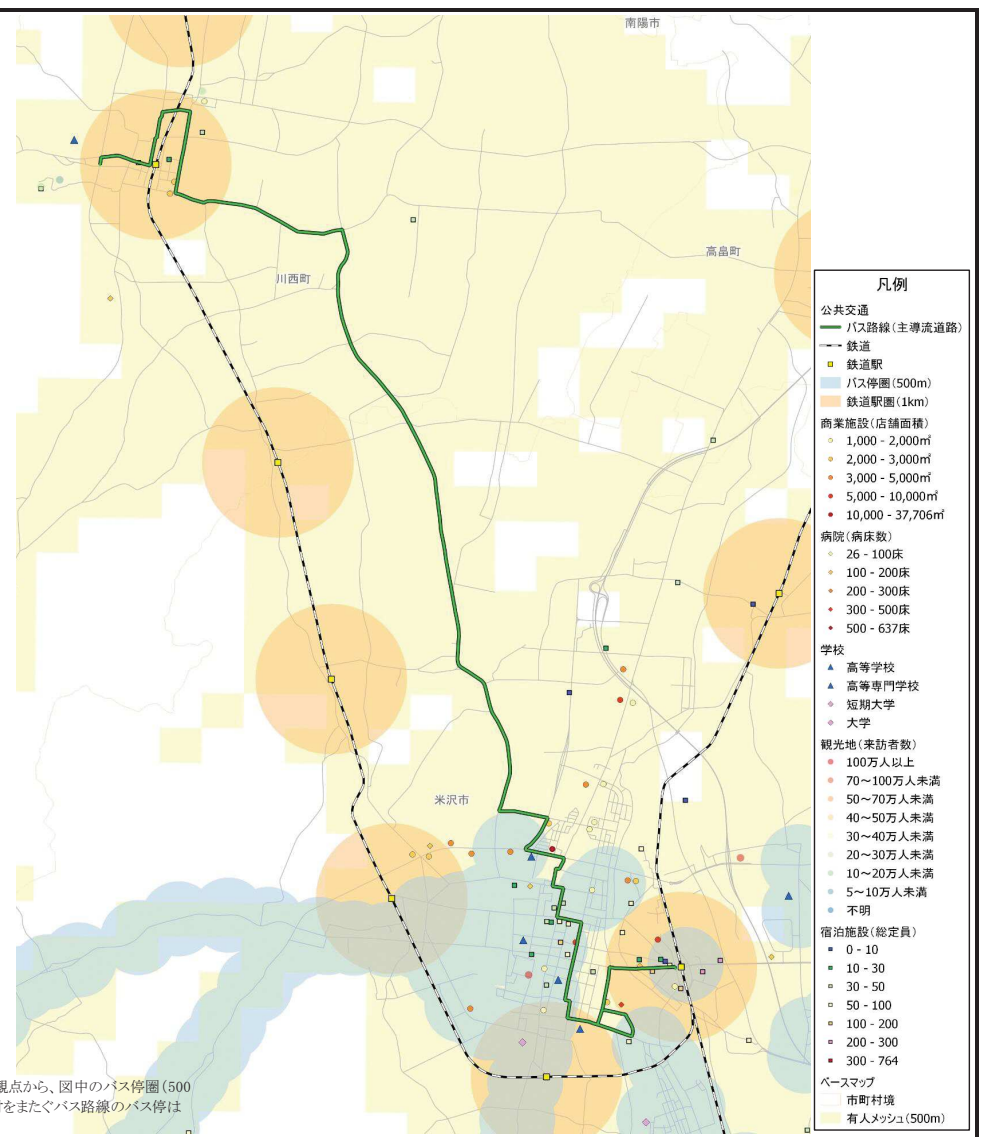
主要流動路		Ⅲ		米沢市⇔川西町	
移動需要量	通勤	2,509	人		%
	通学	275	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	46	人		%



対応する公共交通	鉄道	JR米坂線
	高速バス	なし
	路線バス	以下の1系統
	コミュニティ交通	なし
	その他	米沢中央高等学校(米沢市)スクールバス

拠点		

運行者	経路			運行本数(本)	輸送量(人)	国庫補助(%)	収支率(%)	視点(ア)			視点(イ)			視点(ウ)			沿線市町村
	起点	経由地	終点					沿線人口(H27)	経常収益(千円)	評価	人口増減率(H22-H27)	高齢化率(H27)	評価	キロ程(km)	距離総長(キロ程)に占める平均乗車キロの割合	評価	
山交バス	米沢駅前	市立病院・六郷	川西診療所前	3.0	3以上15未満	30%未満	86.9075,000未満	IV	-1.5%	28.2%	II	21.6	45.4%	II	米沢		



- 凡例
- 公共交通
 - バス路線(主導流道路)
 - 鉄道
 - バス停
 - バス停留所(500m)
 - 鉄道駅(1km)
 - 商業施設(店舗面積)
 - 1,000 - 2,000㎡
 - 2,000 - 3,000㎡
 - 3,000 - 5,000㎡
 - 5,000 - 10,000㎡
 - 10,000 - 37,706㎡
 - 病院(病床数)
 - 26 - 100床
 - 100 - 200床
 - 200 - 300床
 - 300 - 500床
 - 500 - 637床
 - 学校
 - 高等学校
 - 高等専門学校
 - 短期大学
 - 大学
 - 観光地(来訪者数)
 - 100万人以上
 - 70~100万人未満
 - 50~70万人未満
 - 40~50万人未満
 - 30~40万人未満
 - 20~30万人未満
 - 10~20万人未満
 - 5~10万人未満
 - 不明
 - 宿泊施設(総定員)
 - 0 - 10
 - 10 - 30
 - 30 - 50
 - 50 - 100
 - 100 - 200
 - 200 - 300
 - 300 - 764
 - ベースマップ
 - 市町村境
 - 有人メッシュ(500m)

※図の見やすさの観点から、図中のバス停留所(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

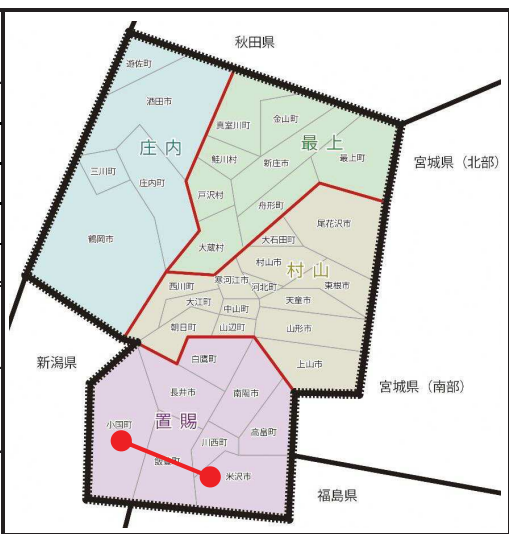
<利用者視点の問題点等>

・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内まで乗り入れていない幹線バス路線が存在(支線バスは乗り入れているにもかかわらず)
 …具体的に: 徳町ショッピングセンター(ヤマダ電機テックランド米沢店)、ヨークベニマル米沢門東町店、わくわくコマレオ米沢店

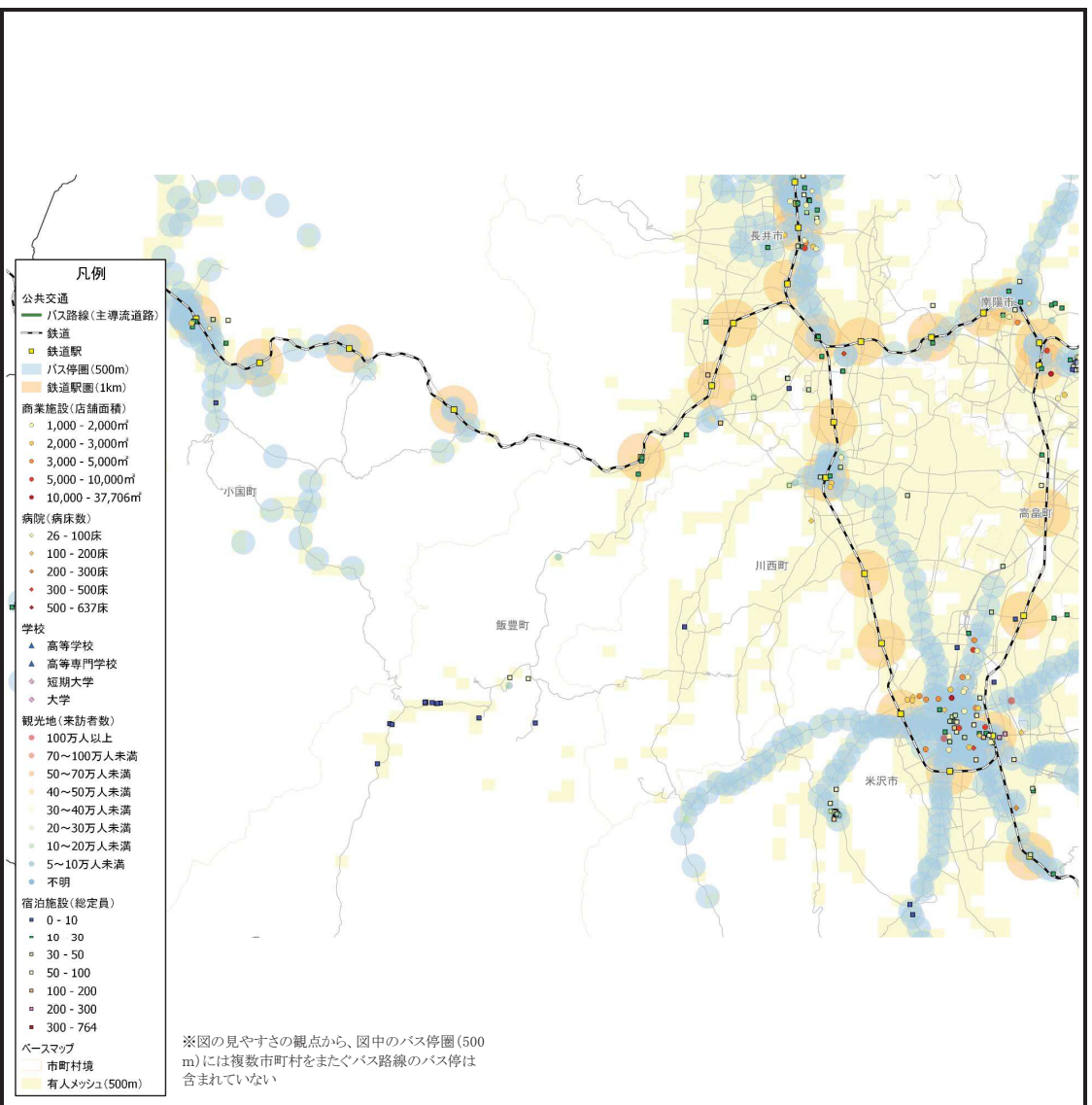
<事業者視点の問題点等>

・沿線人口が比較的多いにもかかわらず、収益が比較的小さい

主要流動路		Ⅲ		米沢市⇔小国町	
移動需要量	通勤	68	人		%
	通学	45	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	8	人		%



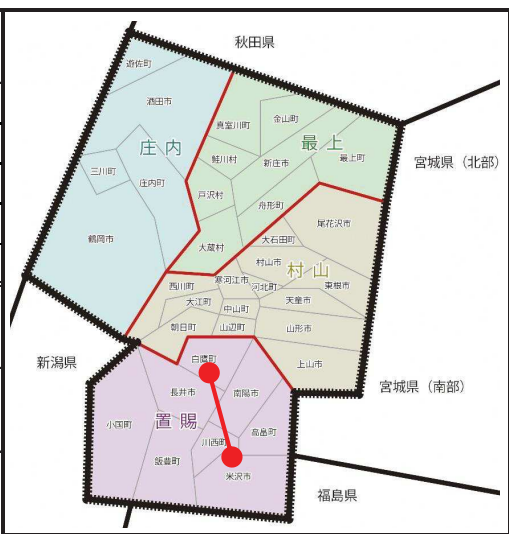
対応する公共交通	鉄道	JR米坂線	拠点
	高速バス	なし	
	路線バス	なし	
	コミュニティ交通	なし	
	その他	なし	



<利用者視点の問題点等>

<事業者視点の問題点等>

主要流動路		Ⅲ 米沢市⇔白鷹町		
移動需要量	通勤	161	人	%
	通学	47	人	%
	買い物 (買い回り)		人	%
	観光		人	%
	ETC2.0	6	人	%

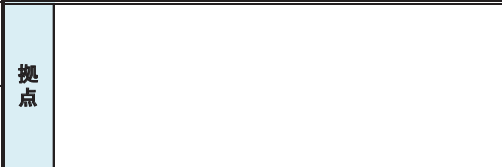
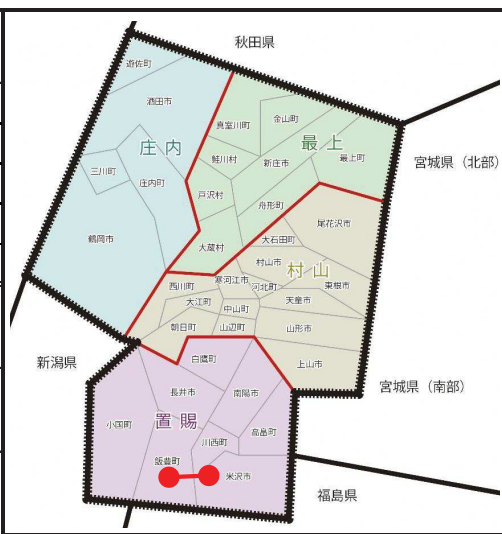


対応する公共交通	鉄道	なし	拠点
	高速バス	なし	
	路線バス	なし	
	コミュニティ交通	なし	
	その他	米沢中央高等学校(米沢市)スクールバス	

<利用者視点の問題点等>

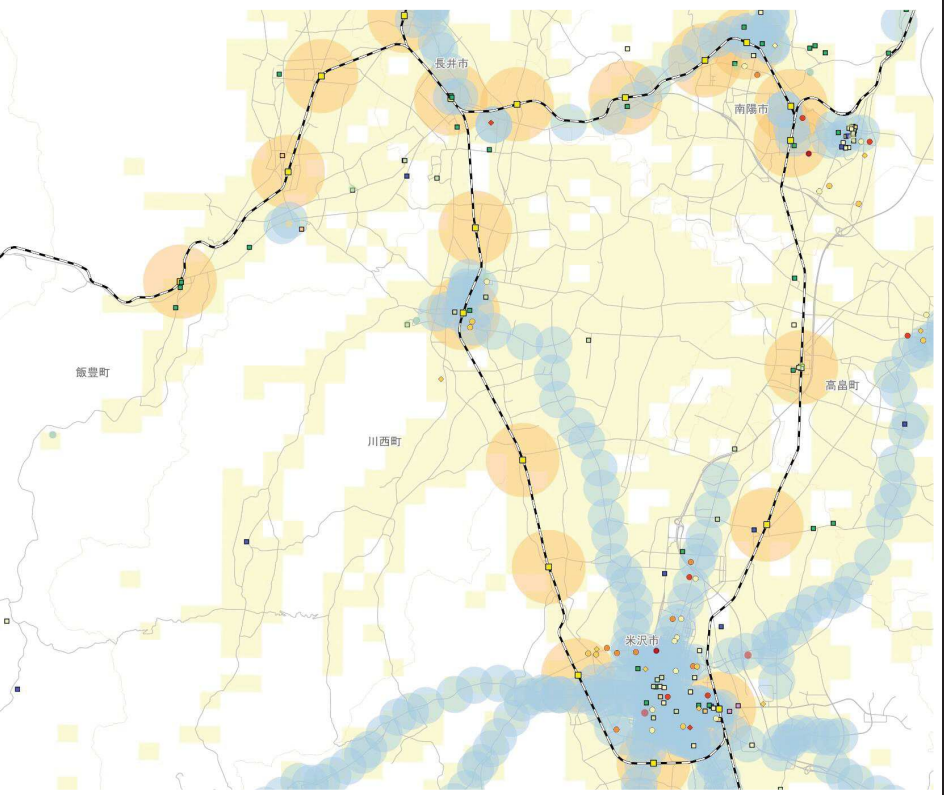
<事業者視点の問題点等>

主要流動路		Ⅲ		米沢市⇔飯豊町	
移動需要量	通勤	306	人		%
	通学	56	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	8	人		%
対応する公共交通	鉄道	JR米坂線			
	高速バス	なし			
	路線バス	なし			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	なし			



拠点

- 凡例
- 公共交通
 - バス路線(主導流道路)
 - 鉄道
 - 鉄道駅
 - バス停留(500m)
 - バス駅圏(1km)
 - 商業施設(店舗面積)
 - 1,000 - 2,000㎡
 - 2,000 - 3,000㎡
 - 3,000 - 5,000㎡
 - 5,000 - 10,000㎡
 - 10,000 - 37,706㎡
 - 病院(病床数)
 - 26 - 100床
 - 100 - 200床
 - 200 - 300床
 - 300 - 500床
 - 500 - 637床
 - 学校
 - 高等学校
 - 高等専門学校
 - 短期大学
 - 大学
 - 観光地(来訪者数)
 - 100万人以上
 - 70~100万人未満
 - 50~70万人未満
 - 40~50万人未満
 - 30~40万人未満
 - 20~30万人未満
 - 10~20万人未満
 - 5~10万人未満
 - 不明
 - 宿泊施設(総定員)
 - 0 - 10
 - 10 - 30
 - 30 - 50
 - 50 - 100
 - 100 - 200
 - 200 - 300
 - 300 - 764
 - バスマップ
 - 市町村境
 - 有人メッシュ(500m)

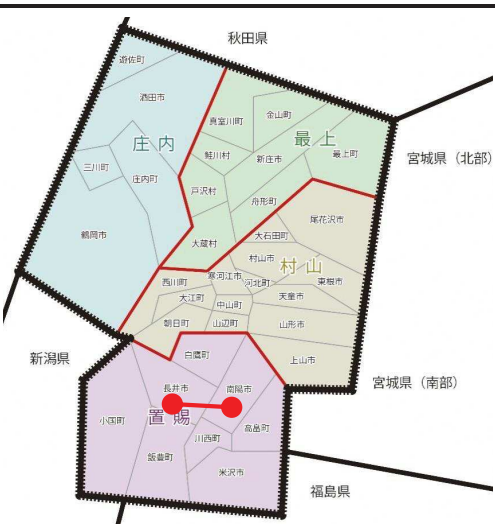


※図の見やすさの観点から、図中のバス停留圏(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

<利用者視点の問題点等>

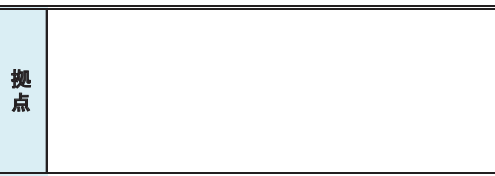
<事業者視点の問題点等>

主要流動路		Ⅲ		長井市⇔南陽市	
移動需要量	通勤	1,272	人		%
	通学	233	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	33	人		%



※図の見やすさの観点から、図中のバス停圏(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

対応する公共交通	鉄道	山形鉄道フラワー長井線
	高速バス	なし
	路線バス	以下の1系統
	コミュニティ交通	なし
	その他	なし



凡例

公共交通
 緑線 バス路線(主導流道路)
 黒線 鉄道
 黄色四角 鉄道駅
 黄色四角(中心) バス停圏(500m)
 黄色四角(中心) 鉄道駅圏(1km)

商業施設(店舗面積)
 赤丸 1,000 - 2,000㎡
 赤丸 2,000 - 3,000㎡
 赤丸 3,000 - 5,000㎡
 赤丸 5,000 - 10,000㎡
 赤丸 10,000 - 37,706㎡

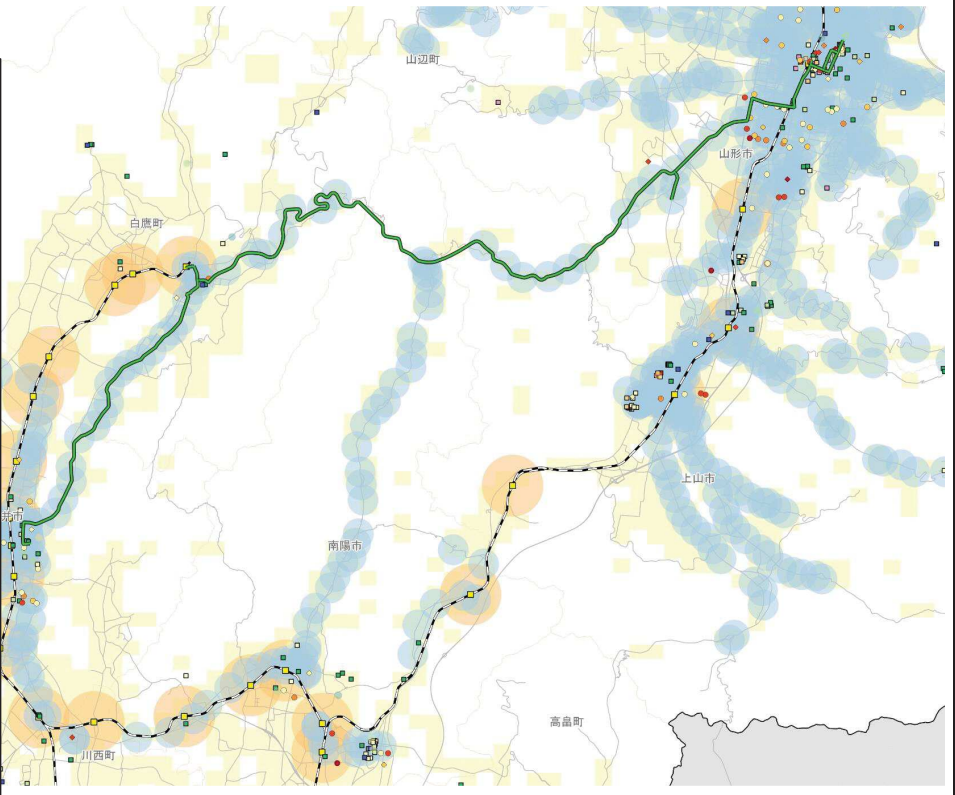
病院(病床数)
 赤丸 26 - 100床
 赤丸 100 - 200床
 赤丸 200 - 300床
 赤丸 300 - 500床
 赤丸 500 - 637床

学校
 赤三角 高等学校
 赤三角 高等専門学校
 赤三角 短期大学
 赤三角 大学

観光地(来訪者数)
 赤丸 100万人以上
 赤丸 70~100万人未満
 赤丸 50~70万人未満
 赤丸 40~50万人未満
 赤丸 30~40万人未満
 赤丸 20~30万人未満
 赤丸 10~20万人未満
 赤丸 5~10万人未満
 赤丸 不明

宿泊施設(総定員)
 赤丸 0 - 10
 赤丸 10 - 30
 赤丸 30 - 50
 赤丸 50 - 100
 赤丸 100 - 200
 赤丸 200 - 300
 赤丸 300 - 764

ベースマップ
 赤線 市町村境
 赤線 有人メッシュ(500m)



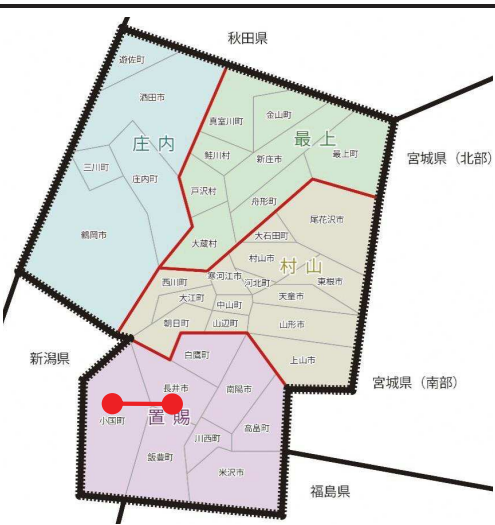
運行者	経路			運行本数(本)	輸送量(人)	国庫補助(%)	収支率(%)	拠点(ア)		拠点(イ)		拠点(ウ)		沿線市町村			
	起点	経由地	終点					沿線人口(人)	経路収益(千円)	人口増減率(%)	高齢化率(%)	評価	キロ程(km)		経路延長(キロ程)に占める平均乗車キロの割合	評価	
山交バス	山形市役所前	長井	道の駅川のみなと美津	6.0	20以上50未満	○	30%以上50%未満	134,084	10,000以上30,000未満	1	-1.3%	28.5%	Ⅱ	45.7	14.4%	Ⅲ	山形市 長井市 南陽市 白鷹町 高畠町 川西町

<利用者視点の問題点等>

<事業者視点の問題点等>

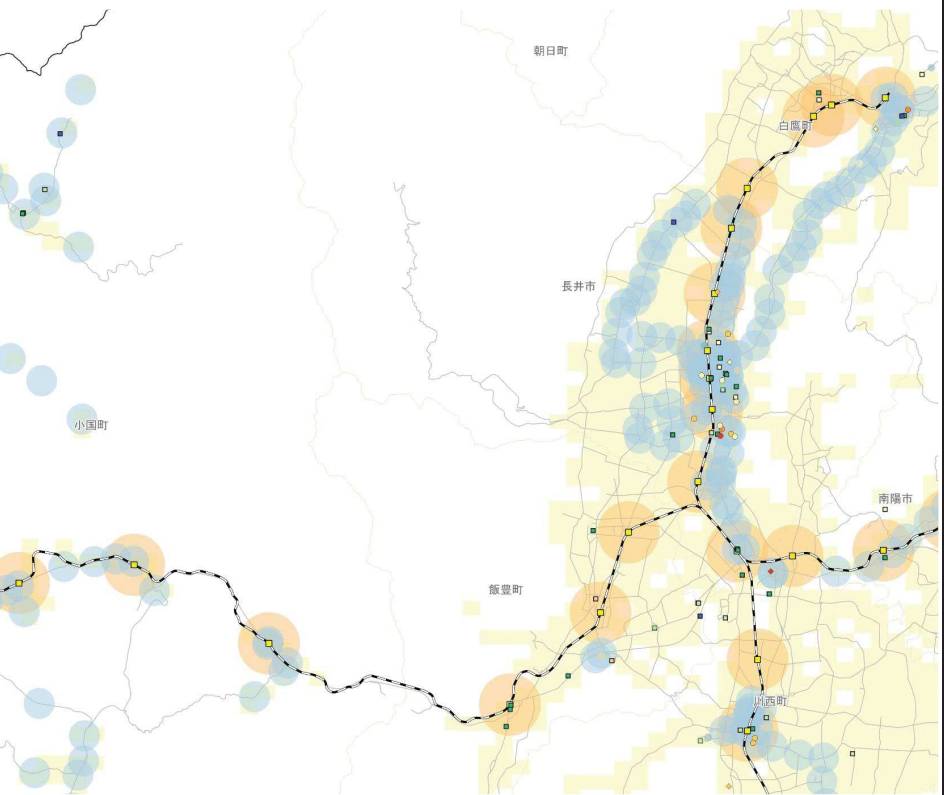
・冗長なルートの割に、利用者の短区間利用が顕著であり、今後のルート分割・短縮等の運行効率化が求められる幹線バス路線が存在

主要流動路		Ⅲ	長井市⇄小国町	
移動需要量	通勤	203	人	%
	通学	22	人	%
	買い物 (買い回り)		人	%
	観光		人	%
	ETC2.0	8	人	%
対応する公共交通	鉄道	JR米坂線		
	高速バス	なし		
	路線バス	なし		
	コミュニティ交通	なし		
	その他	なし		
			拠点	



※図の見やすさの観点から、図中のバス停留(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

- 凡例**
- 公共交通
 ● バス路線(主導流道路)
 ○ 鉄道
 □ 鉄道駅
 ● バス停留(500m)
 ○ 鉄道駅圏(1km)
- 商業施設(店舗面積)
 ● 1,000 - 2,000㎡
 ● 2,000 - 3,000㎡
 ● 3,000 - 5,000㎡
 ● 5,000 - 10,000㎡
 ● 10,000 - 37,706㎡
- 病院(病床数)
 ● 26 - 100床
 ● 100 - 200床
 ● 200 - 300床
 ● 300 - 500床
 ● 500 - 637床
- 学校
 ▲ 高等学校
 ▲ 高等専門学校
 ◆ 短期大学
 ◆ 大学
- 観光地(来訪者数)
 ● 100万人以上
 ● 70~100万人未満
 ● 50~70万人未満
 ● 40~50万人未満
 ● 30~40万人未満
 ● 20~30万人未満
 ● 10~20万人未満
 ● 5~10万人未満
 ● 不明
- 宿泊施設(総定員)
 ■ 0 - 10
 ■ 10 - 30
 ■ 30 - 50
 ■ 50 - 100
 ■ 100 - 200
 ■ 200 - 300
 ■ 300 - 764
- バスマップ
 ■ 市町村境
 ■ 有人メッシュ(500m)



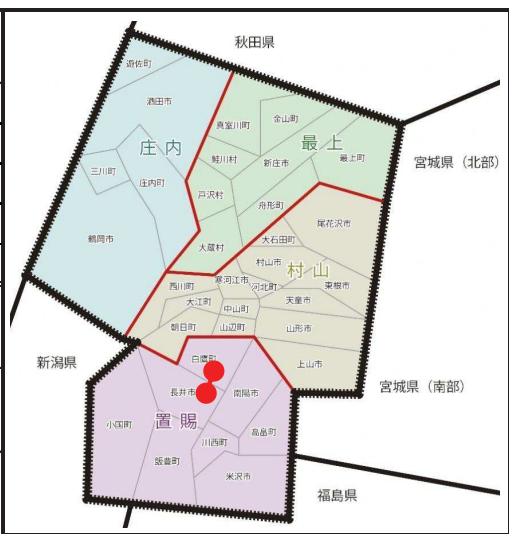
<利用者視点の問題点等>

・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内まで乗り入れていない幹線バス路線が存在(支線バスは乗り入れているにもかかわらず)
 …具体的に: 白い森ショッピングセンターアスモ

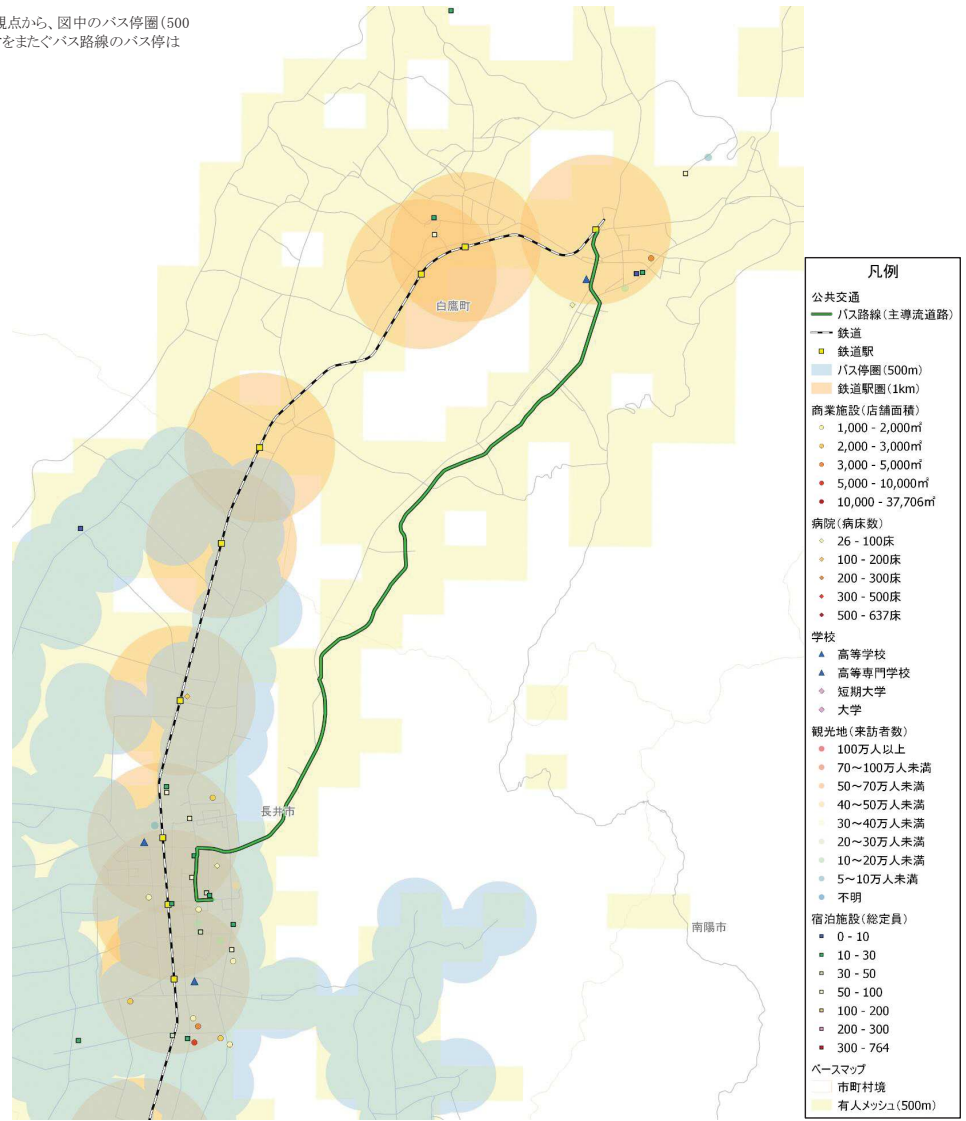
<事業者視点の問題点等>

主要流動路		Ⅲ	長井市⇄白鷹町	
移動需要量	通勤	2,296	人	%
	通学	200	人	%
	買い物 (買い回り)		人	%
	観光		人	%
	ETC2.0	17	人	%

対応する公共交通	鉄道	山形鉄道フラワー長井線
	高速バス	なし
	路線バス	以下の1系統
	コミュニティ交通	なし
	その他	なし



※図の見やすさの観点から、図中のバス停圏(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない



- 凡例**
- 公共交通
 — バス路線(主導流道路)
 - - - 鉄道
 ■ 鉄道駅
 ● バス停圏(500m)
 ○ 鉄道駅圏(1km)
- 商業施設(店舗面積)
 ● 1,000 - 2,000㎡
 ● 2,000 - 3,000㎡
 ● 3,000 - 5,000㎡
 ● 5,000 - 10,000㎡
 ● 10,000 - 37,706㎡
- 病院(病床数)
 ● 26 - 100床
 ● 100 - 200床
 ● 200 - 300床
 ● 300 - 500床
 ● 500 - 637床
- 学校
 ▲ 高等学校
 ▲ 高等専門学校
 ● 短期大学
 ● 大学
- 観光地(来訪者数)
 ● 100万人以上
 ● 70~100万人未満
 ● 50~70万人未満
 ● 40~50万人未満
 ● 30~40万人未満
 ● 20~30万人未満
 ● 10~20万人未満
 ● 5~10万人未満
 ● 不明
- 宿泊施設(総定員)
 ■ 0 - 10
 ■ 10 - 30
 ■ 30 - 50
 ■ 50 - 100
 ■ 100 - 200
 ■ 200 - 300
 ■ 300 - 764
- バスマップ
 市町村境
 有人メッシュ(500m)

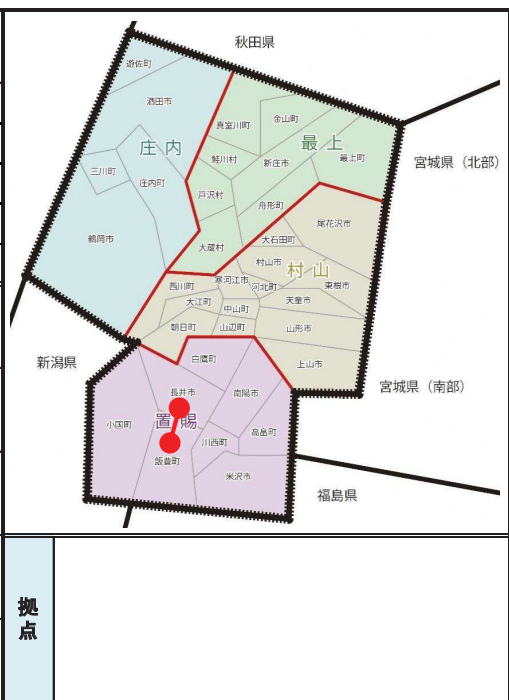
運行者	経路			運行本数(本)	輸送量(人)	国庫補助	収支率(%)	視点(ア)			視点(イ)			視点(ウ)			沿線市町村
	起点	経由地	終点					沿線人口(H27)(人)	経常収益(千円)	評価	人口増減率(H22-H27)	高齢化率(H27)	評価	キロ程(km)	距離線長(キロ程)に占める平均乗車キロの割合	評価	
山交バス	長井市役所前	浅立	茂根駅	1.5	5以上 19未満		50%以上 80%未満	30,236	5,000未満	Ⅲ	-5.7%	33.3%	Ⅳ	12.8	25.8%	Ⅱ	長井

<利用者視点の問題点等>

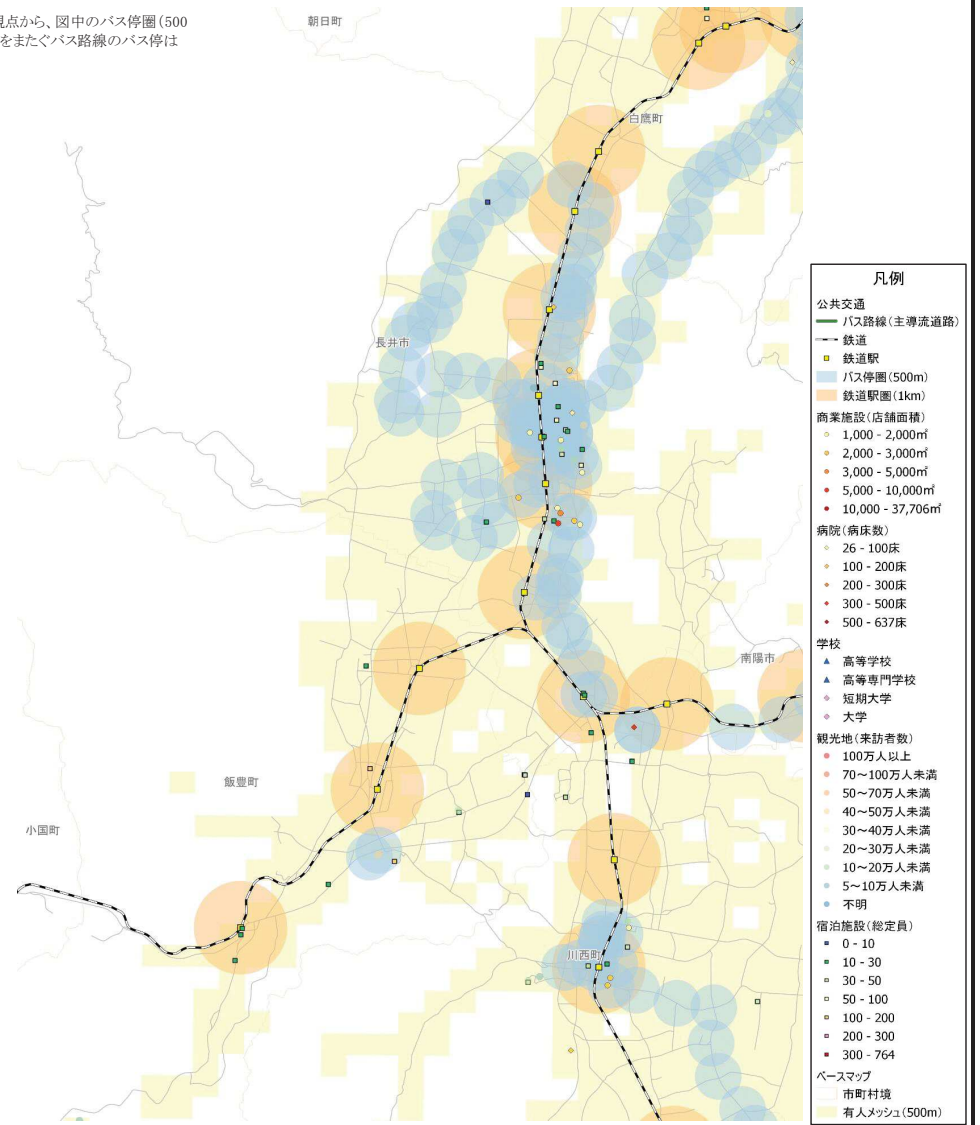
<事業者視点の問題点等>

・人口減少・高齢化が進行しており、バス交通の抜本的見直しが必要と考えられる幹線バス路線が存在

主要流動路		Ⅲ		長井市⇔飯豊町	
移動需要量	通勤	1,527	人		%
	通学	73	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	28	人		%
対応する公共交通	鉄道	JR米坂線			
	高速バス	なし			
	路線バス	なし			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	なし			
				拠点	



※図の見やすさの観点から、図中のバス停留(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

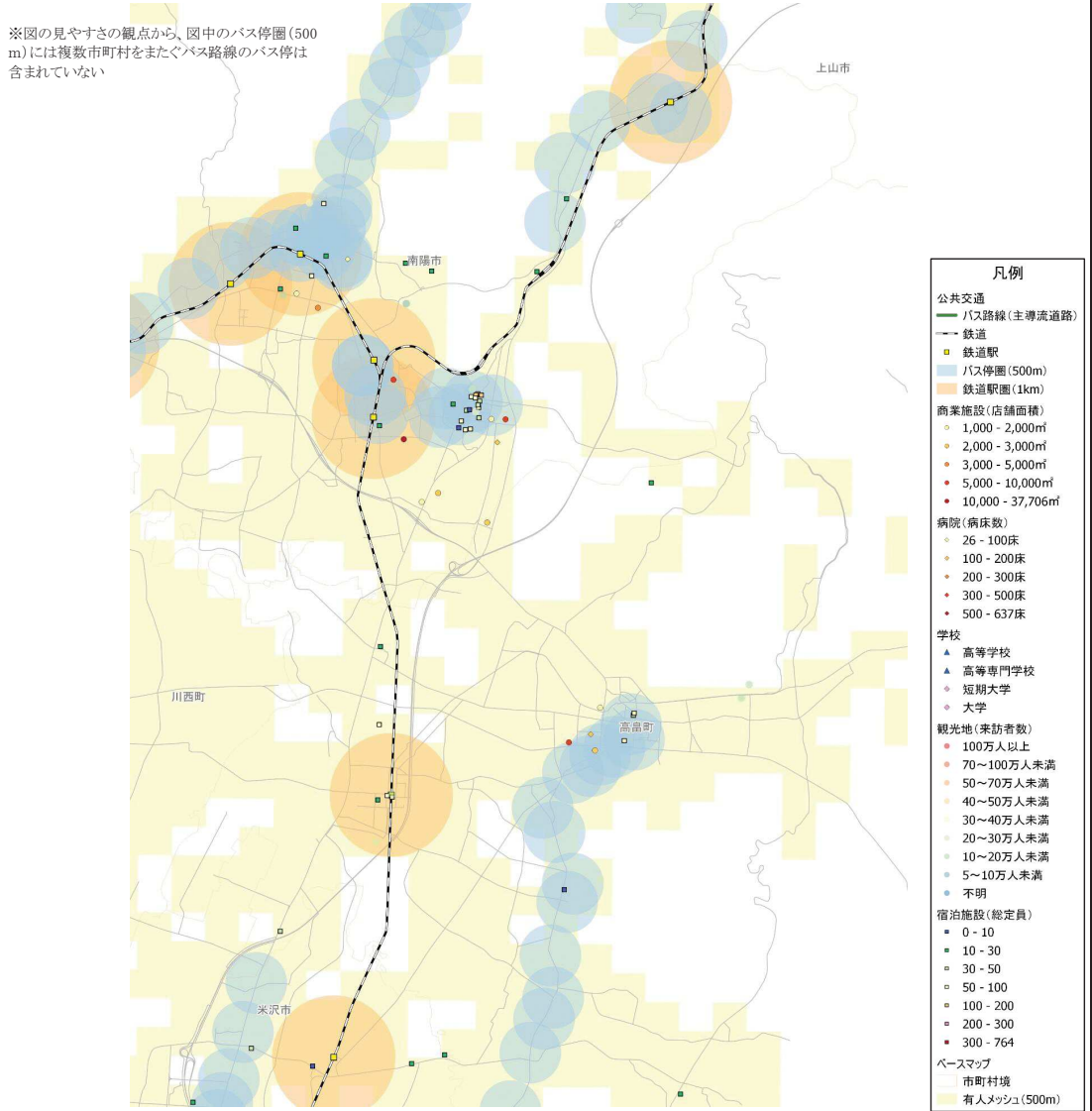


- 凡例**
- 公共交通
- バス路線(主導流道路)
 - 鉄道
 - バス停留(500m)
 - バス停留圏(1km)
- 商業施設(店舗面積)
- 1,000 - 2,000㎡
 - 2,000 - 3,000㎡
 - 3,000 - 5,000㎡
 - 5,000 - 10,000㎡
 - 10,000 - 37,706㎡
- 病院(病床数)
- 26 - 100床
 - 100 - 200床
 - 200 - 300床
 - 300 - 500床
 - 500 - 637床
- 学校
- 高等学校
 - 高等専門学校
 - 短期大学
 - 大学
- 観光地(来訪者数)
- 100万人以上
 - 70~100万人未満
 - 50~70万人未満
 - 40~50万人未満
 - 30~40万人未満
 - 20~30万人未満
 - 10~20万人未満
 - 5~10万人未満
 - 不明
- 宿泊施設(総定員)
- 0 - 10
 - 10 - 30
 - 30 - 50
 - 50 - 100
 - 100 - 200
 - 200 - 300
 - 300 - 764
- ベースマップ
- 市町村境
 - 有人メッシュ(500m)

<利用者視点の問題点等>

<事業者視点の問題点等>

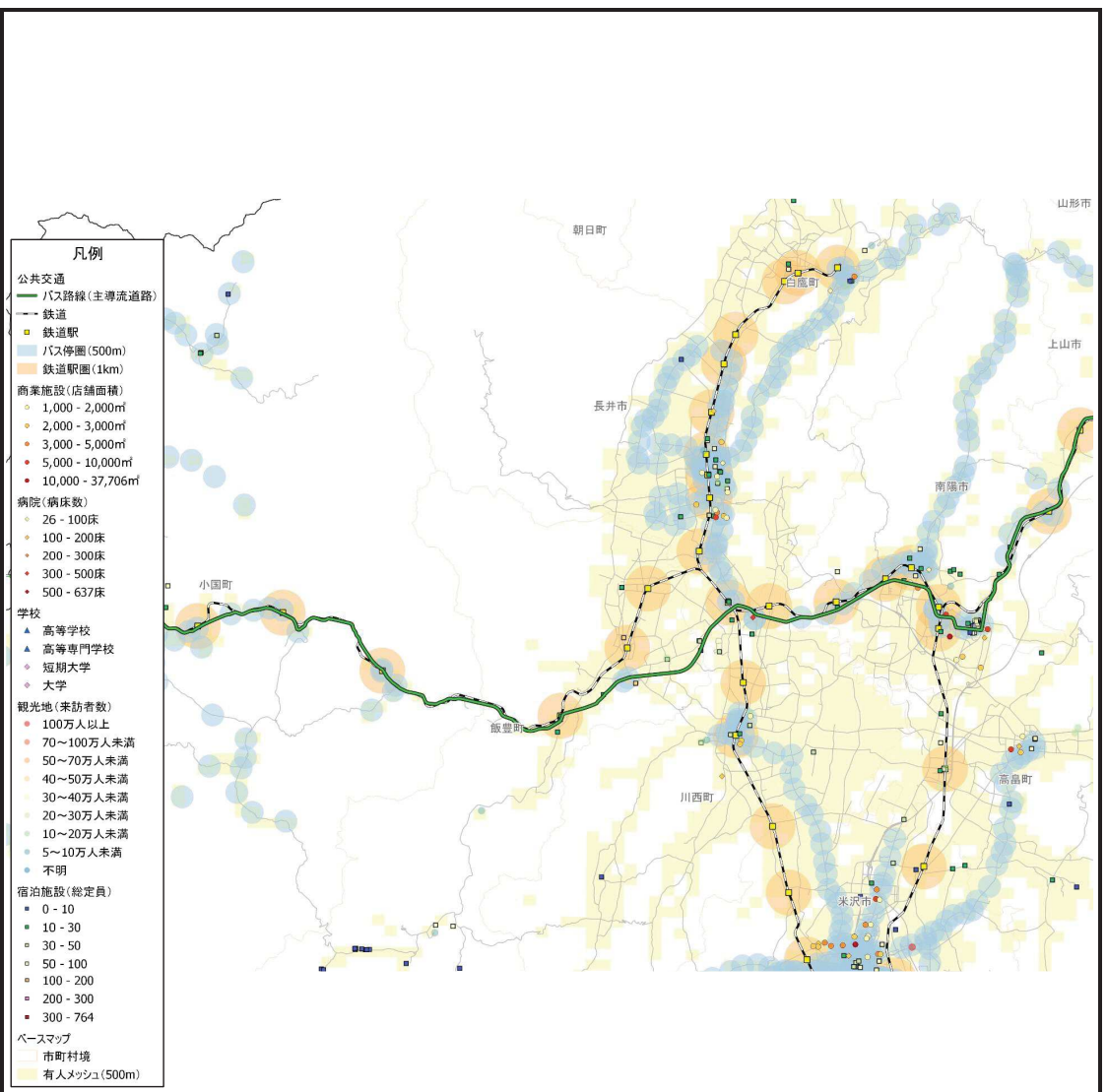
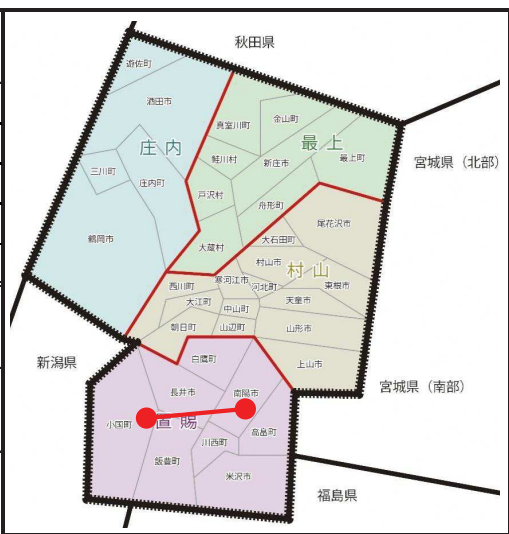
主要流動路		Ⅲ		南陽市⇄高畠町	
移動需要量	通勤	2,575	人		%
	通学	110	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	65	人		%
対応する公共交通	鉄道	JR山形線			
	高速バス	なし			
	路線バス	なし			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	天然温泉竹とんぼ”彩時季”(高畠町)での送迎			
				拠点	



<利用者視点の問題点等>

<事業者視点の問題点等>

主要流動路		Ⅲ		南陽市⇔小国町	
移動需要量	通勤	50	人		%
	通学	6	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	4	人		%
対応する公共交通	鉄道	なし			
	高速バス	以下の1系統			
	路線バス	なし			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	なし			
			拠点		



運行者	経路			運行本数(本)	輸送量(人)	国庫補助(%)	収支率(%)	拠点(ア)		拠点(イ)		拠点(ウ)		沿線市町村			
	起点	経由地	終点					沿線人口(人)	経路収益(千円)	人口増減率(%)	高齢化率(%)	評点	キロ程(km)		経路延長(キロ程)に占める平均乗降キロの割合	評点	
山交バス	山交ビルビル	小国町	万代シティBC	1.0	15以上 20未満	80%以上 100%未満		113,681	10,000以上 30,000未満	1	-3.4%	30.2%	Ⅱ	164.9	100.0%	Ⅱ	山 上 市 南 陽 市 小 国 町

※図の見やすさの観点から、図中のバス停圏(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

<利用者視点の問題点等>	
<p>・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内まで乗り入れていない幹線バス路線が存在(支線バスは乗り入れているにもかかわらず)</p> <p>…具体的に: 白い森ショッピングセンターアスモ</p>	

<事業者視点の問題点等>	
<p> </p>	

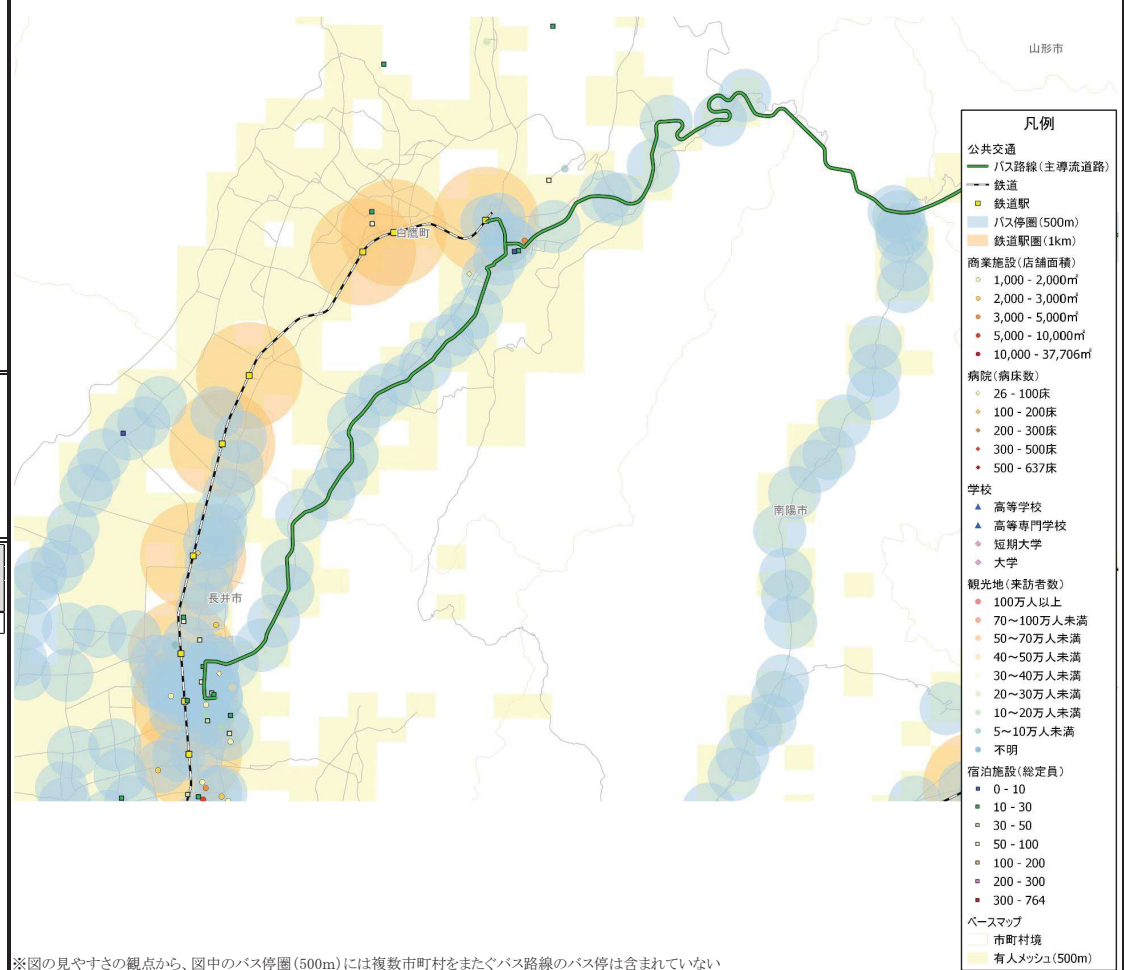
主要流動路		Ⅲ		南陽市⇄白鷹町	
移動需要量	通勤	205	人		%
	通学	50	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	2	人		%



対応する公共交通	鉄道	山形鉄道フラワー長井線
	高速バス	なし
	路線バス	以下の1系統
	コミュニティ交通	なし
	その他	なし

拠点		

運行区	経路			運行本数 (本)	輸送量 (人)	国庫補助 (%)	収支率 (%)	視点(ア)			視点(イ)			視点(ウ)			沿線町村
	起点	経由地	終点					沿線人口 (人)	総乗客数 (千円)	評価	人口密度率 (人/km ²)	高齢化率 (%)	評価	距離 (km)	距離長(キロ圏)に 占める平均乗客キロの割合	評価	
山形バス	山形市役所前	長井	道の駅川のみなと長井	6.0	30以上 50未満	○	30%以上 50%未満	134,084	10,000以上 130,000未満	I	-1.3%	28.5%	II	45.7	14.4%	IV	山 上 南 白 長



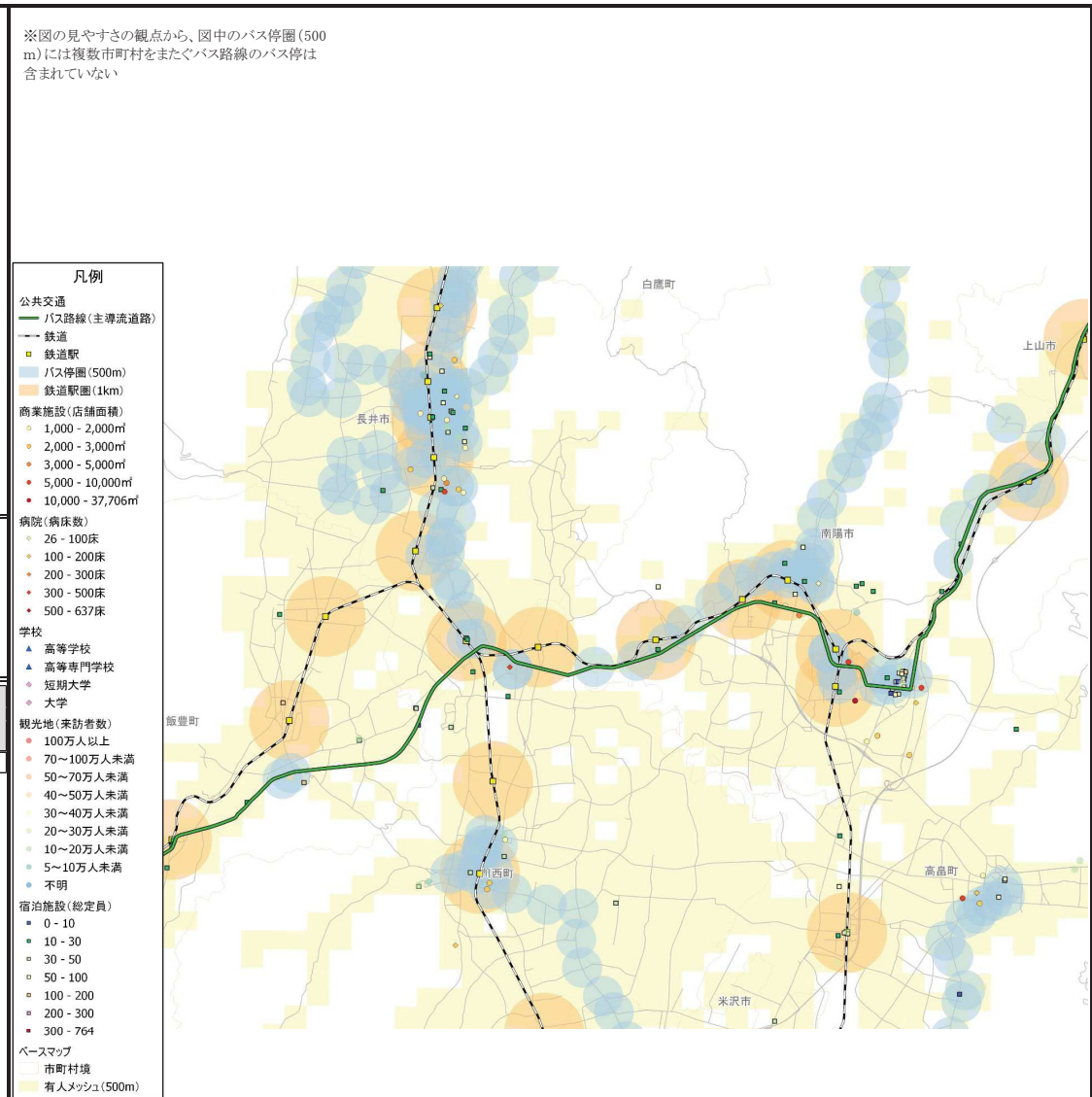
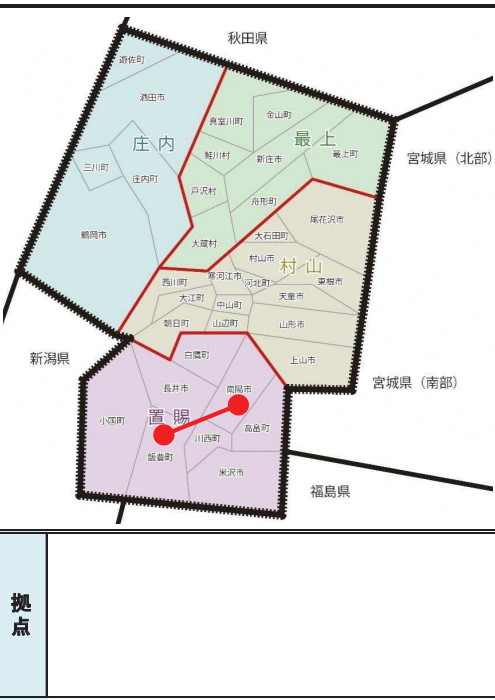
※図の見やすさの観点から、図中のバス停留(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

<利用者視点の問題点等>

<事業者視点の問題点等>

・冗長なルートの割に、利用者の短区間利用が顕著であり、今後のルート分割・短縮等の運行効率化が求められる幹線バス路線が存在

主要流動路		Ⅲ		南陽市⇔飯豊町	
移動需要量	通勤	343	人		%
	通学	29	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	6	人		%
対応する公共交通	鉄道	なし			
	高速バス	以下の1系統			
	路線バス	なし			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	なし			



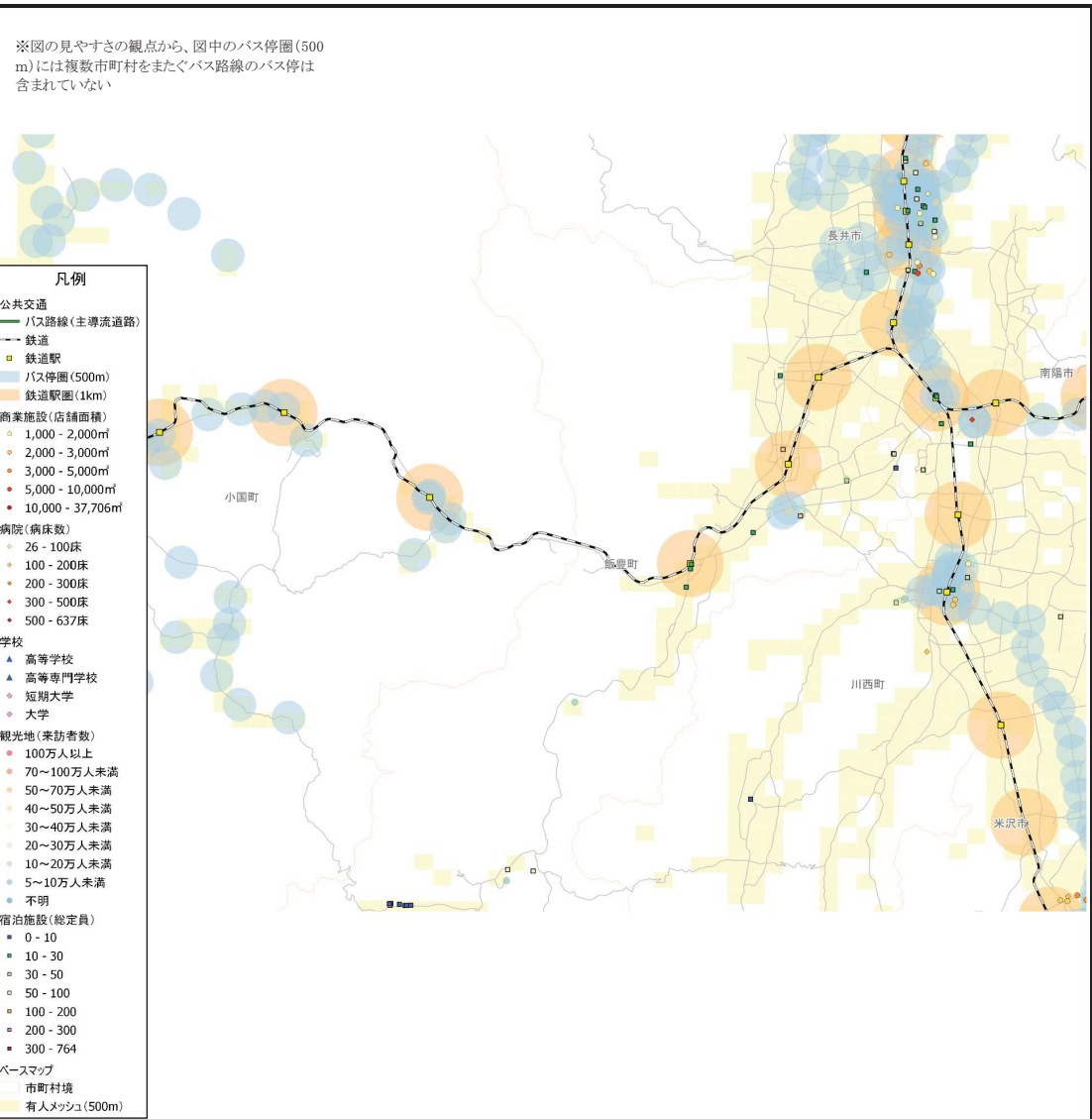
運行者	経路			運行本数(本)	輸送量(人)	国庫補助	収支率(%)	拠点(ア)			拠点(イ)			拠点(ウ)			沿線市町村
	起点	経由地	終点					沿線人口(人)	総乗収益(千円)	人口総乗率(人/千円)	高乗収率(人/千円)	評点	キロ程(km)	経路総長(キロ程に占める平均乗車キロの割合)	評点		
山交バス	山交ビル前	小瀬町	万代シティ前	1.0	15以上 30未満		80%以上 100%未満	113.661	10,000以上 20,000未満	1	-3.4%	30.2%	Ⅱ	164.8	100.0%	Ⅱ	山 上 市 川 床 飯 小

<利用者視点の問題点等> <事業者視点の問題点等>

主要流動路		III		川西町⇔小国町	
移動需要量	通勤	55	人		%
	通学	2	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	3	人		%
対応する公共交通	鉄道	JR米坂線			
	高速バス	なし			
	路線バス	なし			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	なし			



拠点	川西町	小国町
----	-----	-----



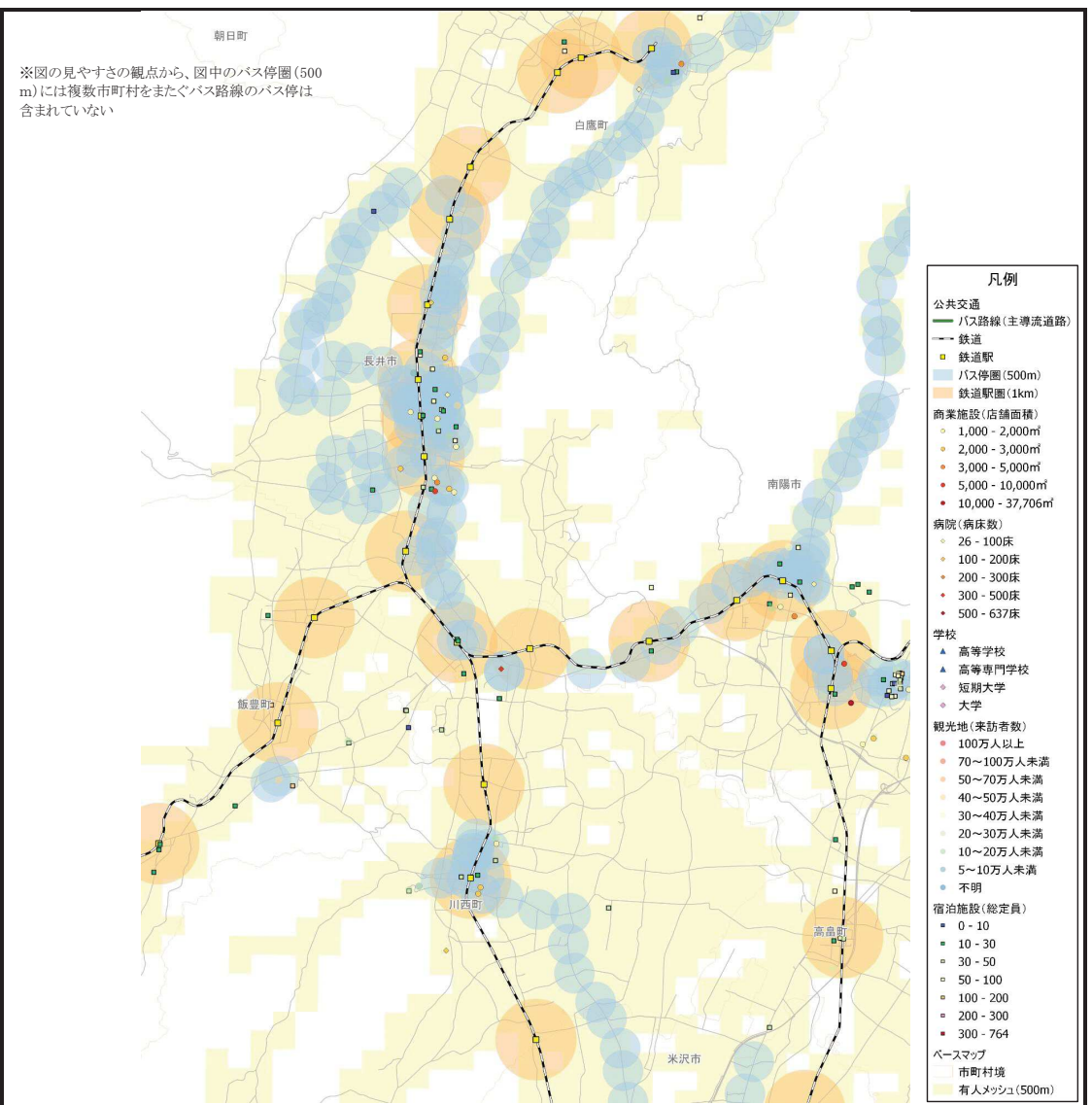
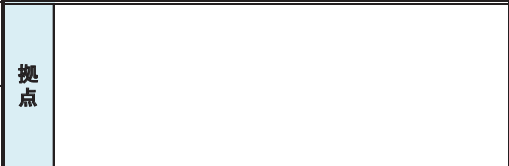
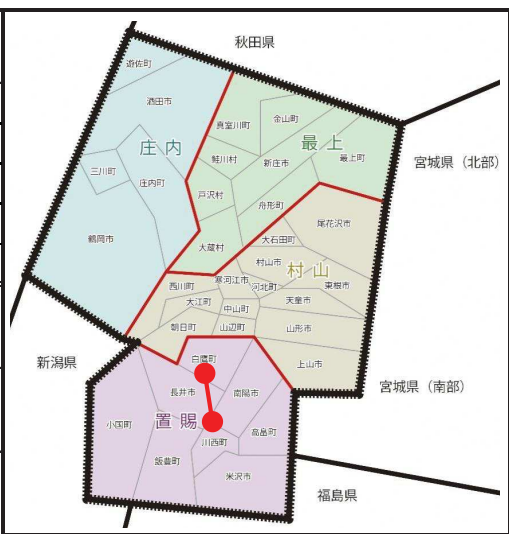
<利用者視点の問題点等>

・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内まで乗り入れていない幹線バス路線が存在(支線バスは乗り入れているにもかかわらず)
 …具体的に: 白い森ショッピングセンターアスモ

<事業者視点の問題点等>

主要流動路		川西町⇄白鷹町	
移動需要量	通勤	195 人	%
	通学	5 人	%
	買い物 (買い回り)	人	%
	観光	人	%
	ETC2.0	2 人	%

対応する公共交通	鉄道	山形鉄道フラワー長井線	
	高速バス	なし	
	路線バス	なし	
	コミュニティ交通	なし	
	その他	なし	



<利用者視点の問題点等>

<事業者視点の問題点等>

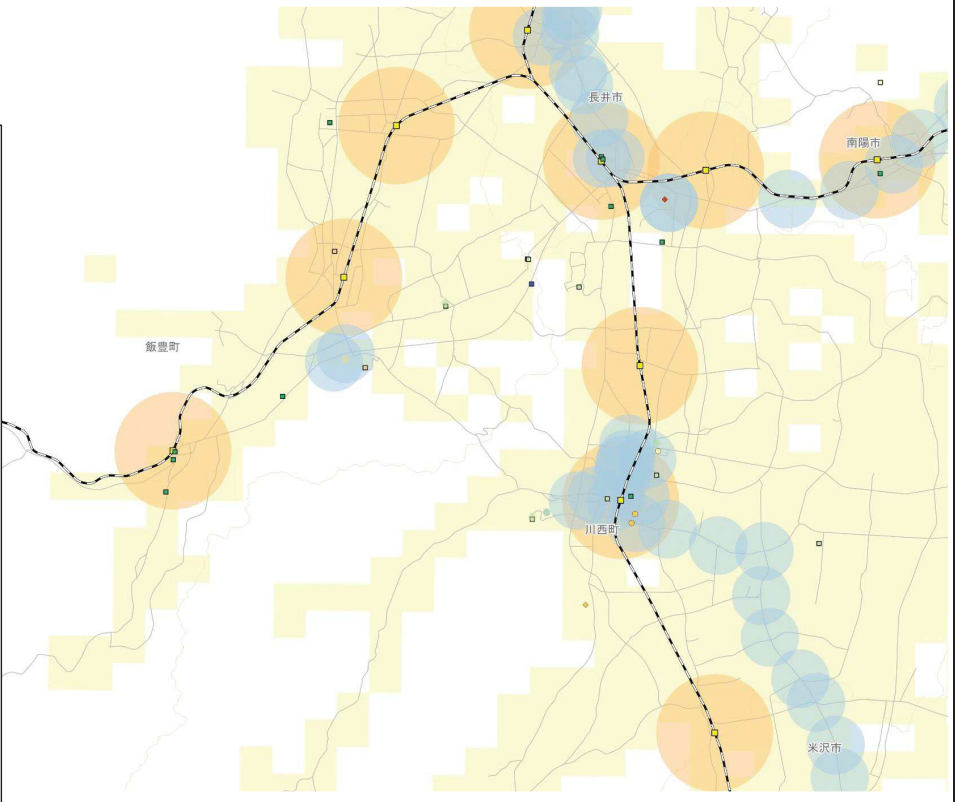
主要流動路		III		川西町⇔飯豊町	
移動需要量	通勤	364	人		%
	通学	22	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	4	人		%
対応する公共交通	鉄道	JR米坂線			
	高速バス	なし			
	路線バス	なし			
	コミュニティ交通	なし			
	その他	なし			



拠点	

※図の見やすさの観点から、図中のバス停圏(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない

- 凡例
- 公共交通
 - バス路線(主導流道路)
 - 鉄道
 - バス停圏(500m)
 - 鉄道駅圏(1km)
 - 商業施設(店舗面積)
 - 1,000 - 2,000㎡
 - 2,000 - 3,000㎡
 - 3,000 - 5,000㎡
 - 5,000 - 10,000㎡
 - 10,000 - 37,706㎡
 - 病院(病床数)
 - 26 - 100床
 - 100 - 200床
 - 200 - 300床
 - 300 - 500床
 - 500 - 637床
 - 学校
 - 高等学校
 - 高等専門学校
 - 短期大学
 - 大学
 - 観光地(来訪者数)
 - 100万人以上
 - 70~100万人未満
 - 50~70万人未満
 - 40~50万人未満
 - 30~40万人未満
 - 20~30万人未満
 - 10~20万人未満
 - 5~10万人未満
 - 不明
 - 宿泊施設(総定員)
 - 0 - 10
 - 10 - 30
 - 30 - 50
 - 50 - 100
 - 100 - 200
 - 200 - 300
 - 300 - 764
 - ベースマップ
 - 市町村境
 - 有人メッシュ(500m)

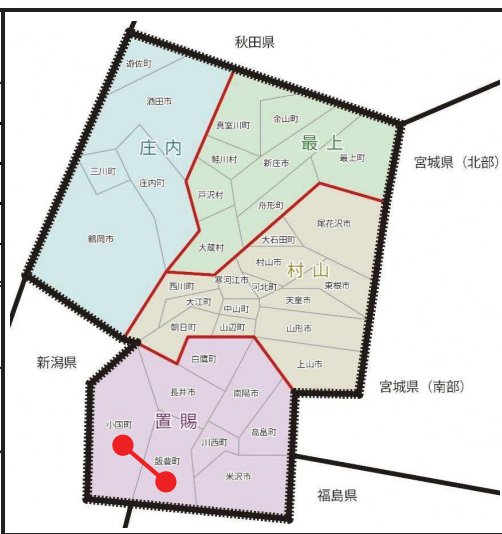


<利用者視点の問題点等>

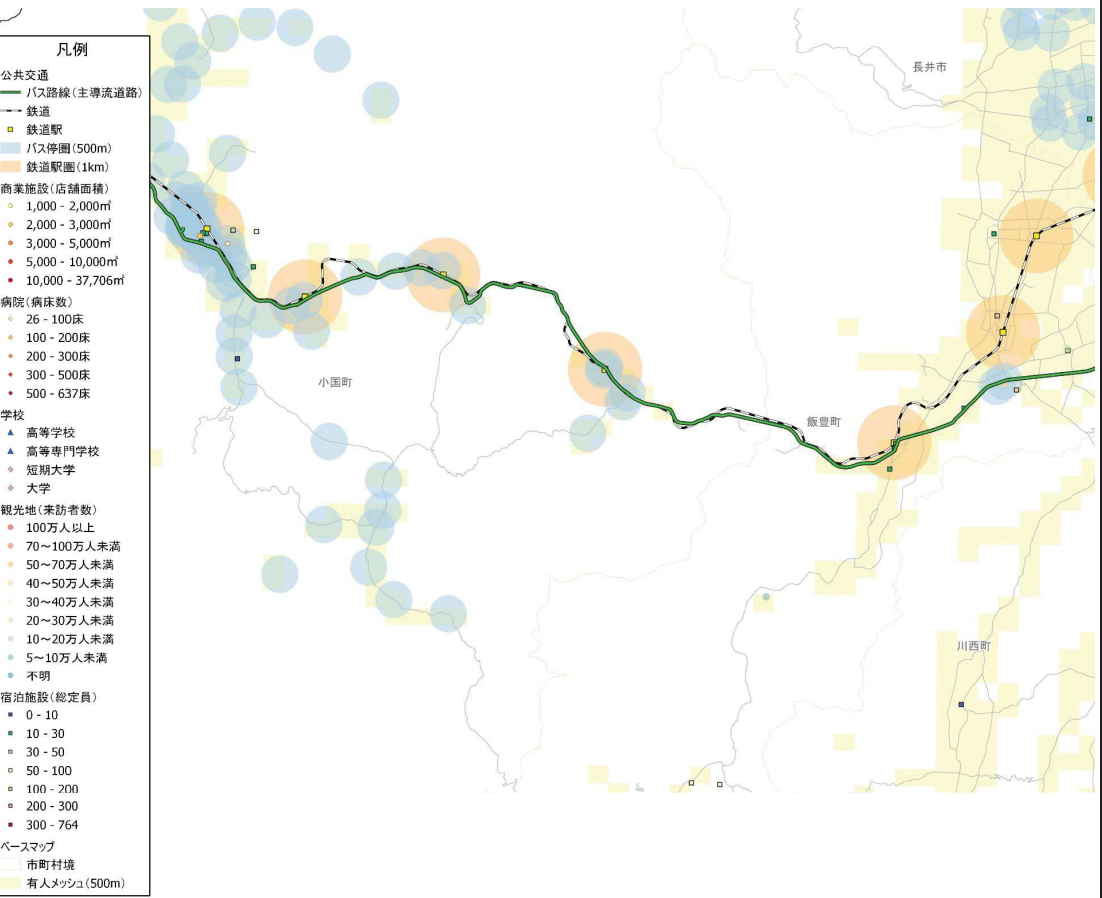
<事業者視点の問題点等>

主要流動路		Ⅲ		小国町⇔飯豊町	
移動需要量	通勤	127	人		%
	通学	14	人		%
	買い物 (買い回り)		人		%
	観光		人		%
	ETC2.0	9	人		%

対応する公共交通	鉄道	JR米坂線
	高速バス	以下の1系統
	路線バス	なし
	コミュニティ交通	なし
	その他	なし



※図の見やすさの観点から、図中のバス停留(500m)には複数市町村をまたぐバス路線のバス停は含まれていない



- 凡例**
- 公共交通
 - バス路線(主幹流道路)
 - 鉄道
 - 鉄道駅
 - バス停留(500m)
 - 鉄道駅圏(1km)
 - 商業施設(店舗面積)
 - 1,000 - 2,000㎡
 - 2,000 - 3,000㎡
 - 3,000 - 5,000㎡
 - 5,000 - 10,000㎡
 - 10,000 - 37,706㎡
 - 病院(病床数)
 - 26 - 100床
 - 100 - 200床
 - 200 - 300床
 - 300 - 500床
 - 500 - 637床
 - 学校
 - 高等学校
 - 高等専門学校
 - 短期大学
 - 大学
 - 観光地(来訪者数)
 - 100万人以上
 - 70~100万人未満
 - 50~70万人未満
 - 40~50万人未満
 - 30~40万人未満
 - 20~30万人未満
 - 10~20万人未満
 - 5~10万人未満
 - 不明
 - 宿泊施設(総定員)
 - 0 - 10
 - 10 - 30
 - 30 - 50
 - 50 - 100
 - 100 - 200
 - 200 - 300
 - 300 - 764
 - ベースマップ
 - 市町村境
 - 有人メッシュ(500m)

運行者	経路			運行本数(本)	輸送量(人)	国庫補助(%)	収支率(%)	拠点(フ)			拠点(イ)			拠点(ウ)			沿線制町村
	起点	経由地	終点					沿線人口(人)	総乗客(千円)	評価	人口密度率(人/1km ²)	高齢化率(%)	評価	距離(km)	距離(km)に占める平均乗客キロの割合	評価	
山交バス	山交ビル8F	小国町	万代シティ8C	1.0	10以上100未満	80%以上100%未満		113.661	10,000以上100,000未満	I	-3.4%	30.2%	II	164.9	100.0%	II	山 上 南 川 長 飯 小

<利用者視点の問題点等>

・利用需要が比較的多い生活利便施設の敷地内まで乗り入れていない幹線バス路線が存在(支線バスは乗り入れているにもかかわらず)
 …具体的に: 白い森ショッピングセンターアスモ

<事業者視点の問題点等>